

**令和4年度  
福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の  
点検・評価報告書**

**令和5年12月**

**福井市教育委員会**

## 目 次

1	はじめに	1
2	点検・評価方法等	2
3	令和4年度 福井市教育委員会の活動状況	3
4	令和4年度 各種審議会等審議状況	11
5	令和4年度 教育に関する事務の管理及び執行状況	25
6	学識経験者の知見	72

# 1 はじめに

本報告書「令和4年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」(以下、「点検・評価報告書」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和4年度の福井市教育振興基本計画の成果報告とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

## 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価方法等

### (1) 対象期間

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)

### (2) 点検・評価方法

点検・評価報告書案の作成

・教育委員会において点検・評価報告書案を作成

点検・評価報告書の確認・審査意見

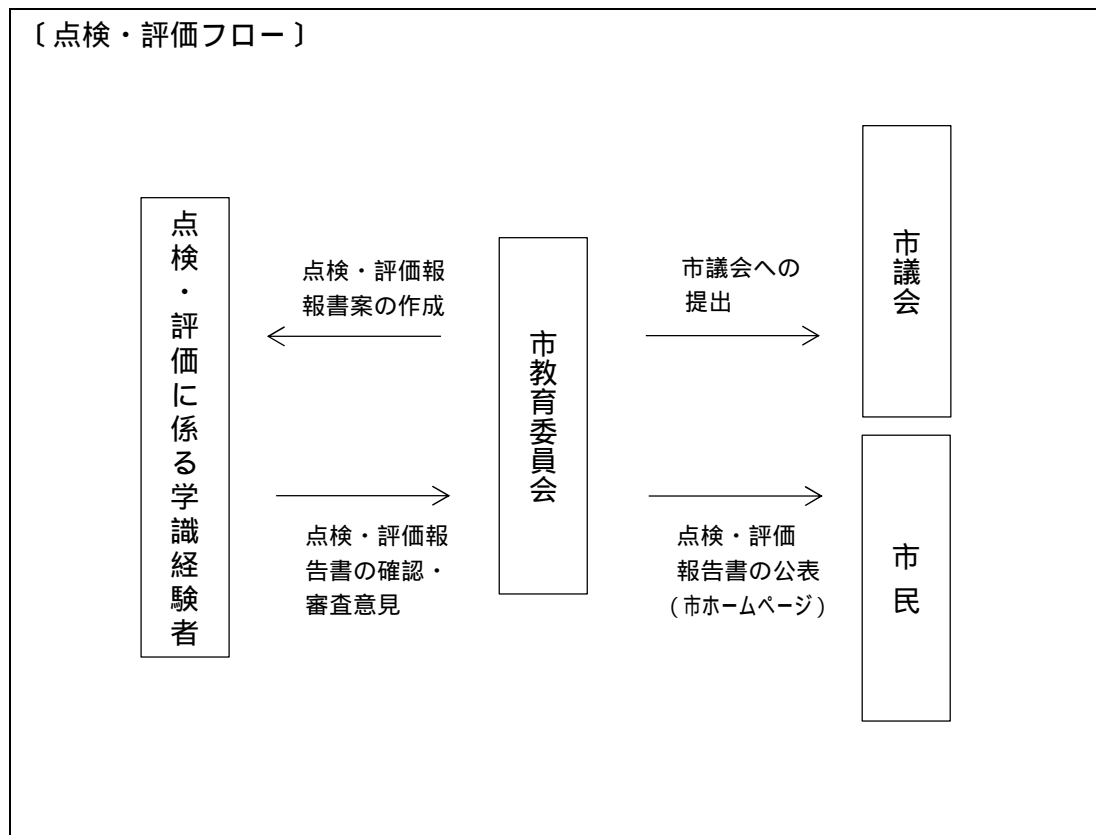
・学識経験者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

市議会への提出

・点検・評価報告書を市議会に提出

点検・評価報告書の公表

・点検・評価報告書を市のホームページにおいて公表



### 3 令和4年度 福井市教育委員会の活動状況

#### (1) 福井市教育委員会委員の構成 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

職名	氏名	任期	職業等
教育長	吉川 雄二	令和2年6月27日～ 令和5年6月26日	元教員
教育長職務代理者	春木 伸一	令和2年12月22日～ 令和6年12月21日	医師
委員	木村 敦子	平成30年10月1日～ 令和4年9月30日	看護師 (保護者)
委員	多田 和博	平成29年12月24日～ 令和7年12月23日	会社役員
委員	宮郷 美千代	令和元年12月18日～ 令和5年12月17日	団体職員 (保護者)
委員	粟原 知子	令和4年10月1日～ 令和8年9月30日	大学教員 (保護者)

#### (2) 教育委員会の開催状況

委員会	開催日	請願件数	議案件数	報告件数
令和4年4月定例会	4月27日	0	1	1
5月定例会	5月25日	0	5	10
6月定例会	6月29日	0	3	0
7月定例会	7月25日	0	3	0
8月定例会	8月17日	0	5	0
9月定例会	9月28日	0	1	0
10月定例会	10月31日	0	0	0
11月定例会	11月16日	0	2	0
12月臨時会	12月6日	0	1	0
12月定例会	12月23日	0	1	0
令和5年1月定例会	1月27日	0	3	0
2月定例会	2月15日	0	3	0
3月定例会	3月24日	0	4	0
計		0	32	11

( 3 ) 教育委員会審議案件

開催日	内 容
令和 4 年 4 月 27 日 ( 定例 )	第 1 号議案 福井市社会教育功労者表彰について 第 1 号報告 専決処分(福井市結核対策委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて
令和 4 年 5 月 25 日 ( 定例 )	第 2 号議案 市議会定例会提出議案(令和 4 年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて 第 3 号議案 市議会定例会提出議案(土地の取得について)に同意することについて 第 4 号議案 福井市文化財保護委員の委嘱について 第 5 号議案 市指定文化財の指定解除について 第 6 号議案 福井市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について 第 2 号報告 専決処分(福井市通学区域審議会委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 3 号報告 専決処分(福井市結核対策委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 4 号報告 専決処分(福井市学校給食運営委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 5 号報告 専決処分(福井市学校給食運営委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 6 号報告 専決処分(福井市社会教育委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 7 号報告 専決処分(福井市社会教育委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 8 号報告 専決処分(福井市社会教育委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 9 号報告 専決処分(福井市社会教育委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 10 号報告 専決処分(福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱)の承認を求めることについて 第 11 号報告 専決処分(福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱)の承認を求めることについて
令和 4 年 6 月 29 日 ( 定例 )	第 7 号議案 福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱について 第 8 号議案 福井市自然史博物館運営協議会委員の委嘱について 第 9 号議案 福井市図書館協議会委員の委嘱について

令和4年 7月25日 (定例)	第10号議案 福井市通学区域審議会委員の委嘱について 第11号議案 学校嘱託医の退職に伴う福井市学校嘱託医功労者表彰について 第12号議案 福井市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
令和4年 8月17日 (定例)	第13号議案 市議会定例会提出議案(令和4年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて 第14号議案 市議会定例会提出議案(財産の取得)に同意することについて 第15号議案 市議会定例会提出議案(工事請負契約の締結について(福井市図書館リニューアル工事))に同意することについて 第16号議案 市議会定例会提出議案(工事請負契約の締結について(福井市図書館リニューアル電気設備工事))に同意することについて 第17号議案 市議会定例会提出議案(工事請負契約の締結について(福井市図書館リニューアル空調設備工事))に同意することについて
令和4年 9月28日 (定例)	第18号議案 福井市社会教育功労者表彰について
令和4年 10月31日 (定例)	審議案件なし
令和4年 11月16日 (定例)	第19号議案 市議会定例会提出議案(令和4年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて 第20号議案 市議会定例会提出議案(福井市体育施設条例の一部改正)に同意することについて
令和4年 12月6日 (臨時)	第21号議案 市議会定例会提出議案(工事請負契約の締結について)に同意することについて
令和4年 12月23日 (定例)	第22号議案 通学区域の変更について
令和5年 1月27日 (定例)	第23号議案 市議会定例会提出議案(福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について)に同意することについて 第24号議案 市議会定例会提出議案(福井市公民館使用料徴収条例の一部改正について)に同意することについて 第25号議案 市議会定例会提出議案(福井市自然史博物館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について)に同意することについて

<p>令和5年 2月15日 (定例)</p>	<p>第26号議案 市議会定例会提出議案（令和4年度福井市一般会計補正予算）に同意することについて</p> <p>第27号議案 市議会定例会提出議案（令和5年度福井市一般会計予算）に同意することについて</p> <p>第28号議案 市議会定例会提出議案（福井市学校設置条例の一部改正について）に同意することについて</p>
<p>令和5年 3月24日 (定例)</p>	<p>第29号議案 福井市教育委員会会議規則の一部改正について</p> <p>第30号議案 福井市情報公開条例施行規則の一部改正について</p> <p>第31号議案 福井市教育委員会個人情報の保護に関する法律施行細則の制定について</p> <p>第32号議案 福井市学校屋外運動場の夜間使用に関する規則及び福井市立学校体育施設の開放に関する規則の一部改正について</p>

教育委員会の議事録

<https://www.city.fukui.lg.jp/kyoiku/boardofeducation/meeting/p016255.html>





( 4 ) 教育委員の活動状況

年月日	行事名	出席委員
令和4年	教育委員会事務局辞令交付式	吉川教育長
4月 1日	社会教育指導員任用通知書交付式	吉川教育長
4月 1日	公民館長委嘱状交付式	吉川教育長
4月 14日	全国都市教育長協議会 第1回理事会	吉川教育長
4月 20日	福井市公民館連絡協議会表彰式・総会	吉川教育長
4月 21日	東海北陸都市教育長協議会 第1回役員会	吉川教育長
4月 27日	4月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
5月 9日	第1回市町教育長会議	吉川教育長
5月 11日	全国都市教育長協議会 第2回理事会	吉川教育長
5月 12～13日	全国都市教育長協議会 定期総会	吉川教育長
5月 20日	福井県都市教育長協議会 定期総会	吉川教育長
5月 21日	福井市PTA連合会 総会	吉川教育長
5月 25日	5月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
5月 26日	B & G地域海洋センター北陸ブロック総会	吉川教育長
5月 28日	シルバーバレー交歓全国大会開会式	吉川教育長
6月 8日	第2回市町教育長会議	吉川教育長
6月 13日	学校訪問(明倫中学校)	宮郷委員
6月 15日	学校訪問(明新小学校)	木村委員
6月 16日	学校訪問(東郷小学校)	宮郷委員
6月 20日	学校訪問(大東中学校)	多田委員
6月 21日	不死鳥のねがい推進協議会 総会	吉川教育長
6月 22日	学校訪問(日新小学校)	木村委員
6月 23日	学校訪問(松本小学校)	宮郷委員
6月 24日	学校訪問(春山小学校)	木村委員
6月 29日	6月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
6月 30日	学校訪問(啓蒙小学校)	春木委員
7月 1日	学校訪問(木田小学校)	多田委員
7月 8日	第3回市町教育長会議	吉川教育長
7月 13日	学校訪問(足羽中学校)	宮郷委員
7月 14日	学校訪問(社中学校)	春木委員

7月14日	全国都市教育長協議会 第3回理事会	吉川教育長
7月15日	中核市教育長会 第1回総会	吉川教育長
7月25日	7月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
7月26日	第1回社会教育委員の会議	吉川教育長
8月2日	第4回市町教育長会議	吉川教育長
8月17日	8月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、多田委員、 宮郷委員
8月18日	教育委員視察（敦賀市角鹿小中学校）	吉川教育長、春木委員、多田委員、 宮郷委員
9月1日	第5回市町教育長会議	吉川教育長
9月8日	第2回市町村教育長・教育委員研究協議会	春木委員
9月22日	国体ふるさと選手激励会	吉川教育長
9月28日	9月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
10月7日	橋本左内先生墓前祭	吉川教育長
10月8日	第11回越前朝倉曲水の宴	吉川教育長
10月23日	結城市交歓会（啓蒙地区文化祭）	吉川教育長
10月28日	福井県市町女性教育委員の会 第1回研修会	宮郷委員
10月31日	10月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、多田委員、 宮郷委員、栗原委員
11月2日	学校訪問（社北小学校）	多田委員
11月3日	令和4年度福井市文化奨励賞授与式	吉川教育長
11月3日	第70回福井市民文化祭開場式	吉川教育長
11月5日	第70回福井市民文化祭芸能大会開会式	吉川教育長
11月8日	福井市社会教育功労者表彰式	吉川教育長、春木委員、宮郷委員
11月10日	全国都市教育長協議会 第4回理事会	吉川教育長
11月16日	11月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、宮郷委員、 栗原委員
11月17日	東海北陸都市教育長協議会 第2回役員会	吉川教育長
11月19日	「小さな親切運動」県民のつどい	吉川教育長
11月21日	第6回市町教育長会議	吉川教育長
11月25日	学校訪問（一乗小学校）	宮郷委員
11月30日	学校訪問（明道中学校）	多田委員

11月30日	ふれあい文化子どもスクール オーケストラと子供たちのふれあいコンサート	多田委員、宮郷委員
12月1日	市公連研究集会・館長主事合同研修会	吉川教育長
12月1日	学校訪問（社中学校）	春木委員
12月5日	学校訪問（成和中学校）	宮郷委員
12月6日	12月臨時教育委員会	吉川教育長、春木委員、多田委員、宮郷委員、栗原委員
12月8日	学校訪問（豊小学校）	宮郷委員
12月16日	学校訪問（清明小学校）	宮郷委員
12月16日	福井県青年館来訪	吉川教育長
12月23日	12月定例教育委員会	春木委員（教育長職務代理者）、多田委員、宮郷委員、栗原委員
令和5年 1月7日	三世代交流事始め	吉川教育長
1月9日	福井市連合婦人会新年のつどい	吉川教育長
1月12日	中核市教育長会 第2回総会	吉川教育長
1月21日	福井市PTA研究大会	吉川教育長
1月27日	1月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、多田委員、宮郷委員、栗原委員
2月6日	第7回市町教育長会議	吉川教育長
2月9日	福井市PTA連合会 市長・教育長と語る会	吉川教育長
2月15日	2月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、多田委員、宮郷委員、栗原委員
3月5日	第28回今和独楽吟表彰式	吉川教育長
3月17日	第1回福井市総合教育会議	吉川教育長、春木委員、多田委員、宮郷委員、栗原委員
3月19日	福井市はたちのつどい	吉川教育長
3月24日	第2回社会教育委員の会議	吉川教育長
3月24日	3月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、多田委員、宮郷委員、栗原委員
3月25日	スポーツ推進委員協議会	吉川教育長

総合教育会議の概要

<https://www.city.fukui.lg.jp/kyoiku/boardofeducation/meeting2/p016017.html>



## 4 令和4年度 各種審議会等審議状況

### 各種審議会等一覧

審議会等名称	所管所属
(1) 福井市学校不適応対策推進会議	学校教育課
(2) 福井市教育支援委員会	学校教育課
(3) 福井市通学区域審議会	学校教育課
(4) 福井市結核対策委員会	保健給食課
(5) 福井市学校給食運営委員会	保健給食課
(6) 福井市社会教育委員の会議	生涯学習課
(7) 福井市少年愛護センター運営委員会	青少年課
(8) 福井市青少年問題協議会	青少年課
(9) スポーツ推進審議会	スポーツ課
(10) 福井市文化財保護委員会	文化財保護課
(11) 福井市図書館協議会	図書館、みどり図書館、桜木図書館
(12) 福井市立郷土歴史博物館運営協議会	郷土歴史博物館
(13) 福井市自然史博物館運営協議会	自然史博物館
(14) 福井市美術館運営協議会	美術館
(15) 福井市文化奨励賞選考委員会	文化振興課

( 1 ) 審議会名 ( 福井市学校不適応対策推進会議 ) 委員数 ( 12 名 ) 開催回数 ( 3 回 )

実施年月日	令和 4 年 9 月 2 日		種別	審議
内容	件 名	1 福井市学校不適応対策事業について 2 チャレンジ教室の今年度の取組について 3 ライフパートナー事業について		
	案件概要	・学校不適応における課題の洗い出しと今年度の方向性について		
	主な意見	・今までは小学生の不登校は 5, 6 年生で多く見られたが、最近では 4 年生でも増えていて、低年齢化の傾向が見られる。 ・チャレンジ教室に通いたいという思いはあるようだが、保護者による送迎が難しいから通えないという話を聞いたことがある。		
実施年月日	令和 4 年 12 月 27 日		種別	審議
内容	件 名	1 福井市の不登校の状況について 2 チャレンジ教室について 3 ライフパートナー事業について 4 令和 4 年度の取組について		
	案件概要	・今年度の学校不適応対策事業の成果と課題について		
	主な意見	・ゲーム依存・ネット依存から不登校になるのではなく、不登校からゲーム依存・ネット依存になるという話を聞いた。日頃の生活の中で、人との関わりを大切にすることが大事だと思う。 ・体調不良で医療機関を受診することが増えている。発達障害もあるが、まず生活リズムを整えることが大切と考える。		
実施年月日	令和 5 年 3 月 16 日		種別	審議
内容	件 名	1 チャレンジ教室の活動について 2 次年度のライフパートナー活動について 3 チャレンジ教室での活動の充実について		
	案件概要	・次年度の取組等について		
	主な意見	・ライフパートナーが家庭に派遣されるのは、家から出られない子どもたちにとって良いのではないか。 ・チャレンジ教室と学校がオンラインでつながることはプラスだと思う。		

(2) 審議会名(福井市教育支援委員会) 委員数(40名) 開催回数(8回)

実施年月日	令和4年4月19日	種別	審議
内容	件名	1 委員長および副委員長の選出 2 本年度の事業計画について 3 福井市の特別支援教育の現状について 4 園調査について	
	案件概要	・特別支援教育の現状把握と今年度の方向性について	
	主な意見	・どんどん支援が必要な児童生徒が増えているので、当委員会の果たす役割は大きい。	
実施年月日	令和4年5月19日	種別	審議
内容	件名	1 教育相談調査票の集計報告 2 個別調査時の教育相談・行動観察事項等について 3 調査作業の分担について 4 就学相談会 説明	
	案件概要	・今後の教育相談のケース内容を確認	
	主な意見	・就学相談のルール確認など	
実施年月日	令和4年7月7,8日	種別	審議
内容	件名	1 令和5年度就学児の就学相談会の持ち方について 2 相談会会場、日程、役割分担、準備物について 3 教育相談表の記入、教育相談留意事項について 4 教育支援委員会判断資料について	
	案件概要	・就学相談の役割分担の確認などの打ち合わせ、相談会場の下見	
	主な意見	・相談の対応、コロナ禍での相談方法など	
実施年月日	令和4年7月25,26日	種別	審議
内容	件名	1 個別調査、相談結果と判断 2 要判断の児童について 3 判断結果について	
	案件概要	・令和5年度就学児の就学相談	
	主な意見	・個別の相談・判断のため割愛	
実施年月日	令和4年8月17,18日	種別	審議
内容	件名	1 個別調査、相談結果と判断 2 要判断の児童について 3 判断結果について	
	案件概要	・前回に来られなかった方や既就学児童生徒の就学相談	
	主な意見	・個別の相談・判断のため割愛	

実施年月日	令和4年9月28,29日	種別	審議
内容	件名	1 個別調査、相談結果と判断 2 要判断の児童について 3 判断結果について	
	案件概要	・既就学児童生徒の就学相談	
	主な意見	・個別の相談・判断のため割愛	
実施年月日	令和4年12月15,16日	種別	審議
内容	件名	1 個別調査、相談結果と判断 2 要判断の児童について 3 判断結果について	
	案件概要	・既就学児童生徒の就学相談	
	主な意見	・個別の相談・判断のため割愛	
実施年月日	令和5年2月15,16日	種別	審議
内容	件名	1 要判断の幼児について 2 要判断の児童生徒について 3 就学相談の経過について 4 令和5年度特別支援学級等の状況について 5 令和5年度教育支援委員会事業内容について	
	案件概要	・令和4年度相談会の振り返り、次年度の対応など	
	主な意見	・今年度の相談、判断について無事に決まりよかった。今年度の反省を踏まえ、また次年度も改善した上で努めたい。	

(3) 審議会名(福井市通学区域審議会) 委員数(13名) 開催回数(2回)

実施年月日	令和4年8月8日	種別	審議
内容	件名	1 北部地域新中学校整備に伴う河合地区の中学校通学区域の変更について 2 殿下中学校廃校に伴う殿下地区の中学校通学区域の変更について	
	案件概要	・河合地区及び殿下地区の通学区域の変更を審議会に諮問	
	主な意見	・北部地域について生徒が安全に通学できるか検討してほしい。 ・準備委員会として議論していく中で、新中学校の名称、森田地区の区割りの問題、通学路の危険箇所、新中学校の校舎の配置等、経過を地元で報告してほしい。 ・学校の統廃合自体を進めていけば、どんどん住み続けていられる地域がなくなっていく、いわゆる田舎はなくなっていくことになるので統廃合自体には反対である。	



実施年月日	令和4年11月9日		種別	審議
内容	件名	1 北部地域新中学校整備に伴う河合地区の中学校通学区域の変更について 2 殿下中学校廃校に伴う殿下地区の中学校通学区域の変更について		
	案件概要	・河合地区及び殿下地区の通学区域の変更について審議会から答申		
	主な意見	・森田地区と河合地区の事前の交流に保護者も加えてほしい。 ・経過措置で通う中学校が分かれた場合に、子どもたちに影響が出ないように進めてほしい。		

(4) 審議会名(福井市結核対策委員会) 委員数(7名) 開催回数(1回)

実施年月日	令和4年6月29日		種別	審議
内容	件名	・令和3年度結核健診実施状況について		
	案件概要	・令和3年度の結核健診の実施状況と結核精密検査の受診状況の報告		
	主な意見	・結核精密検査において、Tスポット検査が主流であるが、採血をするとなると、子供にとってハードルが高い。		
	件名	・令和4年度実施の結核健診における要検討者について		
	案件概要	・令和4年度の結核健診から家族内結核患者との接触歴がある3名について、結核精密検査の要否について検討を行った。		
	主な意見	・家族内結核患者との接触歴がある3名については、全員、結核精密検査は不要。		

(5) 審議会名(福井市学校給食運営委員会) 委員数(14名) 開催回数(1回)

実施年月日	令和4年8月19日		種別	審議・報告
内容	件名	・令和4年度 学校給食の実施について		
	案件概要	・令和4年度の学校給食の実施、運営体制についての報告		
	主な意見	・給食材料の仕入れ値を押さえれば、質と量が確保できる。その中で牛乳の単価が高い。他県では、牛乳を廃止し他の食材で補うことをやっているところもあり、検討をお願いしたい。		
	件名	・令和5年度 円山小学校及び豊小学校の調理業務委託について		
	案件概要	・円山小学校、豊小学校調理業務委託の経緯について説明		
	主な意見	・特になし		
	その他	・福井市新学校給食センター整備運営事業についての報告		
	概要	・民間事業者の決定と今後のスケジュールの概要について説明		
主な意見	・特になし			

(6) 審議会名(福井市社会教育委員の会議) 委員数(16名) 開催回数(2回)

実施年月日	令和4年7月26日	種別	報告
内容	件名	(1) 令和4年度福井市はたちのつどいについて	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年3月19日に2部制で開催</li> <li>・高志中の1期生が初めて対象となる。</li> </ul>	
	主な意見	・なし	
	件名	(2) フットボールセンター整備計画について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ公園サッカー場を整備、利用環境の向上と利用者数拡大を図る。</li> <li>・天然芝から人工芝グラウンドに改修し、ナイター照明、クラブハウスを設置、令和6年3月供用開始予定</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試合のない時間帯にチームが待機できる場所があるといい。</li> <li>・サッカーの練習場だけでなく、社会教育の観点からスポーツ全般の普及につなげてほしい。</li> <li>・部活動の地域移行が進められているが、活動場所の確保が重要。小中学生の利用には減免も含めて検討してほしい。</li> </ul>	
	件名	(3) 市文化会館の解体に伴うスケジュールと工損調査について	
案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年3月に閉館し、8月から工損調査を実施する。</li> <li>・調査範囲は敷地境界から40m内の建物</li> </ul>		
主な意見	・アリーナ構想が浮上しているが、文化会館の今後の方向性について教えてほしい。		
実施年月日	令和5年3月24日	種別	協議・報告
内容	件名	(1) 不死鳥のねがい推進協議会委員の推薦について	
	案件概要	・当会から、不死鳥のねがい推進協議会委員を1名推薦	
	主な意見	・なし	
	件名	(2) 令和5年度主要事業の概要について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度福井市一般会計及び教育費予算の説明</li> <li>・各課より令和5年度主要事業(社会教育関係)概要説明</li> </ul>	
	主な意見	・桜マラソンの各団体へのボランティア要請は、なるべく早く情報提供してほしい。	
	件名	(3) 市民憲章実践目標の見直しについて	
	案件概要	・令和6年度市民憲章制定60周年記念にあたり、実践目標の公募を行う。	
	主な意見	・実践目標が抽象化しているので、具体的な目標にしたほうがよい	

内容	件名	(4) 朝倉館跡 回遊・鑑賞施設の整備について
	案件概要	・館跡の遺構保存と庭園観賞を両立した施設を新設する。
	主な意見	・人を呼ぶには、施設だけでなく、魅力ある宣伝が必要
	件名	(5) 条例の一部改正について
	案件概要	・福井市公民館使用料徴収条例の一部改正について ・福井市体育施設条例の一部改正について ・福井市自然史博物館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について
	主な意見	・なし

(7) 審議会名(福井市少年愛護センター運営委員会) 委員数(15名) 開催回数(1回)

実施年月日	令和4年8月5日	種別	審議
内容	件名	委員長・副委員長の選任について	
	案件概要	・「福井市少年愛護センター設置条例施行規則第3条第1項」の規定により、委員長、副委員長を互選によって定める。	
	結果	・委員長に光野稔委員、副委員長に合川修一委員を選任	
	件名	市愛護センターの概要・事業内容について	
	案件概要	・令和3年度事業報告、4年度事業計画(案)、補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の状況について説明	
	結果	・承認	
	件名	各関係機関・団体の取組について	
	案件概要	・情報(意見)交換	
主な意見	<p>・今の子どもは、インターネットのSNSを通じて知り合った人は「いい人」だと思ってしまう傾向があり、東京や大阪に誘い出されて誘拐されてしまう犯罪が非常に増えている。</p> <p>・非行よりも心配しているのはSNSによるトラブルで、市が行っている「情報モラル講習会」や福井県警が行っている非行防止教室「ひまわり教室」などを毎年確実に実施している。夏休みなどの前には教員が注意喚起をしているが、「人を変えて話をする」ことが大事なので必ず実施している。</p> <p>・SNSにおける子どもの理解が大事だが保護者の理解も重要であるため、保護者対象の情報モラル講習会を開催している。</p> <p>・PTA活動について、コロナの影響でこの2年半活動がストップしており、できることを模索しているが、積極的に活動できるまでには至っていない。</p>		

( 8 ) 審議会名 ( 福井市青少年問題協議会 ) 委員数 ( 12 名 ) 開催回数 ( 1 回 )

実施年月日	令和 4 年 8 月 17 日	種別	協議
内容	件 名	副会長の選任について	
	案件概要	・「福井市青少年問題協議会規則第 3 条第 1 項」の規定により、会長、副会長を互選によって定める。	
	結 果	・会長に田村洋子委員、副会長に堤清忠委員を選任	
	件 名	デジタル・A I 社会の中で生きる子どもたちとの向き合い方について	
	案件概要	・事務局の説明 ( パワーポイント ) を受け、各関係機関・団体の取組について意見交換	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察では少年サポートセンターで「ひまわり教室」を開催し、SNS に気を付けるよう呼び掛けている。また、SNS の犯罪被害にあわないようツイッター等で情報発信をしており、注意喚起を行っている。ツイッターで、女子児童・中学生・高校生が裸の画像を送ったり、家出をしているなどの書き込みを発見した際には、少年サポートセンターから警告文を送信するなど、被害の未然防止を図っている。</li> <li>・G I G A スクール構想で児童生徒が各自一台タブレットを持つことによって、どこでも自分が使いたいときに使える環境になっている。理科の実験の結果を写真に撮るとか、体育で自分がやっている様子を動画で撮影し友達と見せ合うなど、自由に扱えるようになっている。</li> <li>・心配なのは、保護者がスマホやタブレットを買い与えて自由に使用させて、G I G A スクール構想とは別のところでトラブルに巻き込まれるケースも出てきていることである。保護者の意識も様々で、無防備にネットへ動画をアップしようとしていた例もあり、保護者への情報モラルが課題である。</li> <li>・子どもの性被害であるが、家庭の問題などで家出する子どもは、以前は身近な不良の仲間の家に身を寄せたが、最近は出会い系のアプリなどで「家出したい」と投稿すると、全国各地から「交通費を出すからおいで」と返事が来る。すると、その人物のところへ行ってしまう、被害にあうケースが増えている。ネットのリスクと正しい使い方を、年少の段階からしっかり伝える必要があると感じている。</li> </ul>		

( 9 ) 審議会名 ( スポーツ推進審議会 ) 委員数 ( 14 名 ) 開催回数 ( 1 回 )

実施年月日	令和 5 年 1 月 30 日	種別	報告
内容	件 名	福井市スポーツ推進計画【改訂版】について	
	案件概要	・福井市スポーツ推進計画【改訂版】の成果指標の進捗報告等	
	主な意見	<p>・運動を「する」という視点は大切だが、自分のライフワークとして、「する」以外の部分でもスポーツとの関わりがあるか、というような調査が今後は必要になってくるのではないか。</p> <p>・これから第 2 期計画を策定していく段階になると思うが、現時点のイメージとして、先ほどの 18 歳以下を対象とした内容などについては、第 2 期計画に反映していくという認識でいいか。</p>	

( 10 ) 審議会名 ( 福井市文化財保護委員会 ) 委員数 ( 10 名 ) 開催回数 ( 2 回 )

実施年月日	令和 4 年 8 月 3 日	種別	議題・報告
内容	件 名	市指定文化財の指定について 令和 4 年度事業について	
	案件概要	<p>・市指定文化財の指定について概要説明・視察</p> <p>・令和 4 年度事業について報告</p>	
	主な意見	市指定文化財については、現地視察を行った後、指定するか今後、協議を行う。	
実施年月日	令和 5 年 3 月 27 日	種別	協議・審議・報告
内容	件 名	<p>市指定文化財候補 黒龍神社の舟橋左義長祭りについて</p> <p>市指定文化財候補 火産霊神社赤レンガ倉庫について</p> <p>令和 4 年度事業、令和 5 年度事業について</p>	
	案件概要	<p>・市指定文化財候補 黒龍神社の舟橋左義長祭りについて協議</p> <p>・市指定文化財候補 火産霊神社赤レンガ倉庫について審議</p> <p>・令和 4 年度事業、令和 5 年度事業について報告</p>	
	主な意見	黒龍神社の舟橋左義長祭りは、戦後からの流れが受け継がれており、今後も今の状態を続けていく。また、火産霊神社赤レンガ倉庫については、市指定文化財の価値を有するという事で答申を行った。	

(11) 審議会名(福井市図書館協議会) 委員数(9名) 開催回数(2回)

実施年月日	令和4年8月26日	種別	協議・報告
内容	件名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度図書館の利用状況及び行事報告等(上半期)について</li> <li>・令和4年度部局マネジメント方針について</li> <li>・福井市立図書館リニューアル事業について</li> </ul>	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度部局マネジメント方針における図書館の具体的な取組内容と数値指標について説明した。</li> <li>・市立図書館リニューアル事業について、福井市議会の9月定例会で議決を求める予定である工事請負契約の内容について説明した。</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部局マネジメント方針の指標の1つである「図書館利用満足度」を測定する利用者アンケートについては、QRコード等を活用し、ネットで回答できるようにすると、回答や集計もしやすく、回答してくれる人も増えると思われるので、その方式で実施してはどうか。</li> <li>・市立図書館は中央館の位置づけで、他の図書館とは役割が異なると思うので、特に郷土資料の収集、保存、提供を重点的にお願いしたい。</li> </ul>	
実施年月日	令和5年3月2日	種別	協議・報告
内容	件名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度図書館の利用状況及び行事報告(下半期)について</li> <li>・令和5年度の予算及び行事予定について</li> <li>・第2期福井市図書館基本方針(案)について</li> <li>・福井市立図書館リニューアル事業について</li> </ul>	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度予算について、図書館システムの更新とあわせて図書の自動貸出を導入することにより、利用者の利便性向上を図ることについて説明した。</li> <li>・市の総合計画及び教育振興基本計画を上位計画とし、図書館の取組みの方向性を示す第1期福井市図書館基本方針については、令和4年度が最終年度となるため、令和5年度からの第2期方針(案)について説明した。</li> <li>・市立図書館リニューアル事業については、事業の進捗状況とリニューアル後の図書の配置案などを説明した。</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の自動貸出システムの導入について、図書館は高齢者の利用が多いように思うので、利用方法について高齢者にもわかるように説明等をお願いしたい。</li> <li>・第2期福井市図書館基本方針(案)について、図書館は、良い本を揃えることが重要であり、本を取捨選択する感覚が大切である。そのためには、司書職員の知識の継続が大事である。また、「越國文庫」などの図書館が所蔵する貴重書については、県等と連携してアーカイブ化を推進していく必要がある。</li> </ul>	

(12) 審議会名(福井市立郷土歴史博物館運営協議会) 委員数(8名) 開催回数(2回)

実施年月日	令和4年9月22日	種別	諮問
内容	件名	・郷土歴史博物館の運営について	
	案件概要	1. 令和4年度事業について諮問 2. 令和5年度予定事業の概要について諮問	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数の目標値に対し、博物館の駐車場や展示室のキャパシティが相応しているか、改めて考慮の必要もあるのではないか。また来館者数の目標値とその根拠について、明示できるよう努めてもらいたい。</li> <li>・SNSでの情報発信やデジタルアーカイブの展示での活用など、今後とも続けてほしい。</li> </ul>	
実施年月日	令和5年3月3日	種別	諮問
内容	件名	・郷土歴史博物館の運営について	
	案件概要	1. 令和4年度下半期事業について諮問 2. 令和5年度予定事業について諮問	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の評価指標として、人数や回数などのほか、満足度(評価点)など質的な要素も重要ではないか。</li> <li>・松平春嶽の明治時代の日記「礪川文藻」については、将来的には翻刻されたフルテキストの公開などをめざしてほしい。</li> </ul>	

(13) 審議会名(福井市自然史博物館運営協議会) 委員数(10名) 開催回数(2回)

実施年月日	令和4年8月4日	種別	審議
内容	件名	(1) 自然史博物館について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告 利用状況、企画展や自然史講座の開催状況、収蔵資料の状況、研究報告や博物館だより等の発刊、広報等の活動、決算状況等</li> <li>・令和4年度事業経過報告 企画展、自然史講座等の開催状況及び今後の予定</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でありながら、利用者数が増えている。講座について抽選になる人気のあるものは機会を増やしてもらえると良い。</li> </ul>	
	件名	(2) セーレンプラネット(分館)について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告 利用状況、特別展、企画展等展示業務、ドーム映像業務、自主事業等の実施状況、学習投映の実施状況、広報活動状況、収支決算状況等</li> <li>・令和4年度事業経過報告 特別展、企画展の開催状況、ドーム映像業務の実施状況、イベント等の開催状況及び今後の予定</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビープラネタリウム、子どもが騒いでも良いという企画面白い。郊外に出れば星は見えるが機会がない。公民館の移動観望会も人や手間がかかるがこういった活動をしていただきたい。</li> </ul>	
	件名	(3) その他	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年福井市文化奨励賞候補者の推薦依頼</li> <li>・足羽山道路工事の報告</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	



実施年月日	令和5年2月15日	種別	審議
内容	件名	(1) 自然史博物館(本館)について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業経過報告 特別展等事業実施状況等</li> <li>・令和5年度事業計画 特別展等開催予定、自然史講座等の開催予定及び令和5年度予算の説明等</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むしむしスクール、自然が好きな子どもを育てる良い企画。すそ野を広げる活動をやっていただきたい。</li> <li>・インターネットでどこでもつながる博物館、良い発想でありがたい。実際の体験と組み合わせる使い方を。</li> </ul>	
	件名	(2) セーレンプラネット(分館)について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業経過報告 特別展等事業実施状況等</li> <li>・令和5年度事業計画 特別展等開催予定、ドーム映像業務の実施予定、イベント等の実施予定等</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども解説員体験を行っているが、教職員がプラネタリウムの解説、操作をできないか。子どもたちの興味につながる。難しいと思うが検討を。</li> <li>・ドームコンサート、福井出身の演奏者の検討を。</li> </ul>	
	件名	(3) その他	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足羽山工事の完了と今後の予定</li> <li>・韓国水原市との植物交換について報告</li> </ul>	
	主な意見	・なし	

(14) 審議会名(福井市美術館運営協議会) 委員数(8名) 開催回数(2回)

実施年月日	令和4年10月27日	種別	審議
内容	件名	美術館の運営について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年前期の企画展や市美展、アトリエ等の報告</li> <li>・令和4年度後期の企画展やアトリエ等の説明</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中でも、企画展やイベントを開催して欲しい。</li> <li>・HPでのイベント等の申し込みを分かりやすくして欲しい。</li> </ul>	
実施年月日	令和5年3月23日	種別	審議
内容	件名	美術館の運営について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度後期の企画展やアトリエ等の報告</li> <li>・令和5年度の企画展や市美展、アトリエ等の説明</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度からはコロナ禍の制限も縮小されるので、企画展やそれに関連したイベント等を行って欲しい。</li> <li>・コロナ禍によって、館の運営についてプラス面とマイナス面の双方を検討して今後の館の運営に活かしてもらいたい。</li> </ul>	

(15) 審議会名(福井市文化奨励賞選考委員会) 委員数(7名) 開催回数(1回)

実施年月日	令和4年10月6日	種別	選考
内容	件名	福井市文化奨励賞選考委員会	
	案件概要	文化・芸術等の分野において、優れた実績をあげた個人または団体で福井市文化奨励賞の対象となるものの選定のための審査	
	主な意見	-	

## 5 令和4年度 教育に関する事務の管理及び執行状況

- ・ 施策体系図

福井市教育に関する大綱 (計画期間 令和4年度～8年度)

第3期福井市教育振興基本計画(計画期間 令和4年度～8年度)

- ・ 成果目標の一覧

- ・ 具体的な取組

- ・ 用語の説明

施策体系図

福井市教育に関する大綱			第3期福井市教育振興基本計画
基本理念	政策分野	方針	施策の方向性(34)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     みんなが学び成長するふくいの教育                      〈全国に誇れる教育環境のさらなる充実〉                 </p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     学校教育                 </p>	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす	1 未来につなぐ特色ある学校づくりの推進 2 学力充実のための教育活動 3 豊かな心の教育の推進 4 キャリア教育の充実(拡) 5 多様な子どもたちへの支援の充実
		2 食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する	6 園小接続の推進 7 ICTを活用した教育の推進(拡) 8 教職員の資質向上の推進
		3 安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む	1 安全安心でおいしい学校給食の提供と食育の推進 2 心身ともに健やかに育つ学校保健の充実 3 生き生きと運動に取り組む学校体育の充実
		4 家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る	1 安全で快適な学校施設の整備 2 ICT環境の整備(新) 3 安全安心な通学路の確保と安全教育の推進 4 学校規模の適正化(新)
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     生涯学習、スポーツ                 </p>	5 福井への誇りや愛着が持てるふるさと教育の充実を図る	1 情報モラル教育の推進(新) 2 家庭や地域、関係機関・団体が連携した青少年の健全育成
		6 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する	1 ふるさと教育の推進 2 福井の魅力を学び、発信できる環境づくり
		7 ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する	1 公民館を活用した多様な学習機会の提供 2 だれもが利用しやすい生涯学習施設の充実 3 市民憲章運動の推進 4 市民ニーズに対応した図書館サービスの提供と市民の交流促進 5 効果的・効率的な図書館運営と環境整備
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     文化、芸術、歴史、自然                 </p>	8 自然や科学への興味を高め、創造性豊かな子どもを育む	1 時代のニーズに応じたスポーツ環境の充実 2 生涯にわたるスポーツ活動の充実 3 スポーツを活かしたまちづくりの推進(新) 4 スポーツを通じた交流人口の拡大(新)
		9 市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術に親しむ機会をつくる	1 自然科学教育の推進 2 最先端の科学技術に触れる学びの場の提供(新)
		10 郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する	1 文化芸術に親しむ環境の拡充 2 文化芸術の担い手育成と市民活動の促進
			1 福井の豊かな歴史・文化遺産の保存・活用 2 地域の歴史や文化に関する市民理解の向上(新)

## 第3期福井市教育振興基本計画

### 具体的な取組(96)

(1)特色ある学校づくり (4)福井の学校のあり方についての検討	(2)「家庭・地域・学校協議会」の活用	(3)「教育ウイーク」の推進
(1)福井市学力・学習状況調査研究委員会の設置 (4)英語教育の充実	(2)積極的な授業公開と研究会の実施	(3)読書活動の充実
(1)道徳教育の推進	(2)人権教育の推進	(3)体験活動の充実
(1)福井市キャリア教育連絡協議会の活動の推進	(2)キャリア教育コーディネーターの活用(新)	(3)系統性のあるキャリア教育の推進
(1)共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育(包容する教育)の充実 (4)いじめや不登校の未然防止の支援	(2)就学相談・移行支援の充実 (5)教育相談及び配慮が必要な児童生徒への支援体制の充実	(3)特別支援教育における支援体制の整備 (6)学校不適応児童生徒への支援
(1)園と小学校との連携の強化	(2)わくわく交流デーの充実	(3)保護者への支援
(1)研修の充実と事例の共有(新)	(2)G I G Aスクールサポート体制の充実(新)	
(1)教職員研修の充実	(2)学校における業務改善(新)	(3)福井大学教職大学院との連携
(1)食育の推進及び地場産食材の活用	(2)給食施設の整備(拡)	
(1)健康教育の充実(拡)	(2)学校・家庭・関係機関の連携	
(1)児童生徒の体力維持向上	(2)運動部活動の地域移行に向けた調査・研究(新)	
(1)学校施設の老朽化対策	(2)学校施設の安全性の確保	(3)「新たな日常」に向けた学習環境の整備(新)
(1)ネットワーク環境の整備	(2)教職員授業用タブレット端末の整備(新)	(3)児童生徒用タブレット端末の更新(新)
(1)通学路安全プログラムに基づく取組	(2)安全教育の推進	
(1)福井市北部地域学校規模適正化基本計画に基づく取組(新)	(2)学校規模適正化に向けた取組の推進(新)	
(1)児童生徒及びその保護者を対象とした情報モラル講習会の開催	(2)これから親になる世代を対象とした情報モラル講習会の開催(新)	
(1)家族のふれあいの推進	(2)青少年の健全育成活動への支援	(3)放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保
(1)福井の魅力を体感する活動の推進	(2)郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進	(3)副読本「ふるさと福井の人々」の活用
(1)福井学の全地区における継続的な実施	(2)ICTを活用した事業の開催及び中央公民館と地区公民館の連携(新)	(3)学習情報の提供
(1)公民館事業の充実	(2)地域の各種団体の連携促進のためのコーディネート	
(1)施設の整備	(2)施設の維持管理	
(1)普及啓発	(2)支部実践活動の推進	(3)団体実践活動の推進
(1)市民ニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実と情報発信の強化	(2)郷土資料等の収集とレファレンスサービスの充実	(3)交流拠点の整備によるグループ等活動の促進(新)
(1)利用時間と運営体制の整備	(2)図書館の施設整備	(3)生活様式の変化などに対応した利用しやすく居心地の良い環境の整備(新)
(1)スポーツ施設の再編整備		
(1)生涯スポーツの推進	(2)各種スポーツ事業の充実	(3)スポーツ情報の発信
(1)スポーツ応援文化の醸成(新)	(2)スポーツを通じた地域の活性化(新)	
(1)フルマラソン大会の開催(新)	(2)ランニングコースの整備(新)	
(1)特別展の開催	(2)学校や地域と連携した自然科学教育の推進	
(1)展示内容の充実や講演会等の開催(新)		
(1)ICTを活用した文化芸術活動の場の創出(新)	(2)展示内容等の充実	(3)創作体験活動の促進
(4)市美展ふくいの開催		
(1)文化芸術団体の活動支援	(2)無形民俗文化財の保護と後継者育成	
(1)一乗谷朝倉氏遺跡及び養浩館庭園の保存と活用	(2)郷土歴史博物館収蔵資料の保存と活用	(3)歴史・文化遺産の保存修理
(4)文化的景観や日本遺産などの活用(新)	(5)歴史・文化遺産資料のデジタル化(新)	
(1)歴史のみえるまちづくりの普及推進(拡)	(2)愛宕坂茶道美術館、橘曙寛記念文学館及びグリフィス記念館の活用	(3)歴史体験講座の開催
(4)博物館ボランティア活動の育成・促進	(5)学校と連携した郷土の歴史や文化を学びやすい環境の提供(拡)	(6)文化財の調査及び公開・活用

## 成果目標の一覧

方針	指標	算出根拠	現状 (令和2年度)	目標 (令和8年度)
1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす	将来の夢や目標を持っている児童の割合(小学校)	全国学力・学習状況調査項目「将来の夢や目標を持っていますか」に「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合	88.3% (令和元年度)	92.0%
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合(中学校)		75.5% (令和元年度)	80.0%
	授業を理解している児童の割合(小学校)	福井市小中学校学校評価調査項目「授業がよくわかる」に「よくあてはまる」、「あてはまる」と回答した割合	92.5%	95.0%
	授業を理解している生徒の割合(中学校)		87.6%	90.0%
2 食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する	肥満傾向にある児童の割合	6歳から11歳の男女で肥満傾向が20%以上の児童の割合を平均したもの	8.4%	6.5%以下
3 安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む	小中学校特別教室の空調設備整備率	理科室や音楽室、図工室、家庭科室など普段使用する小中学校特別教室の空調設備整備率	57.0%	100%
4 家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る	「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童の割合(小学校)	全国学力・学習状況調査項目「学校に行くのは楽しいと思うか」に、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合	86.8% (令和元年度)	95.0%
	「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる生徒の割合(中学校)		85.1% (令和元年度)	95.0%
5 福井への誇りや愛着が持てるふるさと教育の充実を図る	中央公民館「福井学」講座の年間参加者数	中央公民館における「福井学」講座の参加者延べ人数	438人	720人
6 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する	公民館の年間利用者数	全公民館の利用者延べ人数	349,190人	920,000人
	図書館の利用満足度	福井市の図書館利用に関するアンケートによる蔵書の充実度や職員の対応など各項目で「満足」、「やや満足」と回答した割合	88.6%	89.3%
7 ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する	体育施設の年間利用者数	施設利用実績により抽出(延べ人数)	655,589人	1,300,000人
8 自然や科学への興味を高め、創造性豊かな子どもを育む	自然史博物館(本館及び分館)の年間施設利用者数	自然史博物館及び分館の入館者数合計	36,815人	97,000人
9 市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術に親しむ機会をつくる	市民文化祭等参加者数及び美術館企画展入場者数合計	市民文化祭等の参加者数と美術館の企画展入場者数を合計したもの	50,153人	94,500人
10 郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する	主要な歴史・文化施設の入場者数	養浩館庭園、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館、一乗谷朝倉氏遺跡復原町並、郷土歴史博物館及びおさごえ民家園を合計したもの	200,227人	334,000人

成果目標の各年度の目標は、第八次福井市総合計画及び部局マネジメント方針の目標を設定している。

## 具体的な取組

政策分野 学校教育

方針 1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす

### 計画の成果目標

成果指標：将来の夢や目標を持っている生徒の割合（小学校）					（学校教育課）
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	89.0%	90.0%	91.0%	91.0%	最終年度目標
実績	84.9%				92.0%

成果指標：将来の夢や目標を持っている生徒の割合（中学校）					（学校教育課）
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	最終年度目標
実績	72.8%				80.0%

成果指標：授業を理解している児童の割合（小学校）					（学校教育課）
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	93.5%	－	－	－	最終年度目標
実績	92.6%				95.0%

成果指標：授業を理解している生徒の割合（中学校）					（学校教育課）
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	87.5%	－	－	－	最終年度目標
実績	86.5%				90.0%

**[施策の方向性] 未来につなぐ特色ある学校づくりの推進**

具体的な取組	(1) 特色ある学校づくり <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	これまで培ってきた各中学校区の特色ある取組を活かし、学校教育の効果を常に検証・改善しながら、本市全体での特色ある教育課程の編成や開かれた学校運営、魅力ある授業づくりなどを推進します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>子どもたちの学びを様々な「人・もの・こと」とつなぐことで、学校教育を充実させ、子どもたちの未来につながる生きる力を育むことを目指して以下の取組を行いました。</p> <p>①各学校において重点的に取り組むことを決め、検証・改善しながら特色ある教育活動を実践しました。</p> <p>各学校において「自校の強み・弱みの洗い出し」と「中学校区教育の連携の在り方の見直しと再構築を行いました。</p> <p>指導主事が学校を訪問し、授業の参観や校長、研究主任との懇談、また、新採用教員、臨時的任用講師研修受講者、1年未満の臨時的任用講師に指導・助言を行いました。</p>	

具体的な取組	(2) 「家庭・地域・学校協議会」の活用 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	家庭、地域、学校の代表で構成する「家庭・地域・学校協議会」を活用し、地域全体の教育・子育ての方針や学校運営の基本方針を策定した上で、それぞれの教育力を発揮した活動を推進します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>今年度は、参集型で会議を開催する学校が増え、50の小学校で129回、23の中学校で58回開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため参集できない学校においても、地域の声を学校教育に取り入れる機会を確保するため書面で実施するなど、社会に開かれた教育課程の実現につとめました。</p> <p>また、地域や保護者に向けた学校の開放も、小中併せて521回開催され、家庭や地域との連携に努めました。</p>	

具体的な取組	(3) 「教育ウイーク」の推進 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	学校に対する理解を深めるため、各学校で、1週間程度の教育ウイークを設けます。保護者や地域住民に、授業などの教育活動や地域と協働した取組を公開することで、家庭、地域、学校が一体となって子どもたちの教育について考え、取り組む機会を増やします。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、全小中学校で共通して行う「教育ウイーク」は開催できませんでした。しかし、各学校の状況に合わせて、場所や人数を分けて公開したり、学校からのお便りやHP、動画等で発信する機会を増やしたりする等の工夫をして、教育活動を地域に公開しました。</p>	



具体的な取組	(4) 福井の学校のあり方についての検討	[学校教育課]
	子どもたちにとって適切な教育環境となるよう、総合教育会議や家庭・地域・学校協議会等で十分な議論を行います。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
3月にICTを活用した教育の推進をテーマに総合教育会議を開催し、デジタルのメリットを最大限に享受する教育活動の推進や整備費用など今後に向けての課題について市長・教育委員が情報を共有しました。		

**[施策の方向性] 学力充実のための教育活動**

具体的な取組	(1) 福井市学力・学習状況調査研究委員会 の設置	[学校教育課]
	「福井市学力・学習状況調査研究委員会」を設置し、全国学力・学習状況調査の結果を分析します。その結果を各小中学校に周知し、授業改善に役立てます。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>研究委員会を設置し、全国学力・学習状況調査の結果分析を行いました。成果と課題に基づいた授業や指導の改善点をリーフレットにまとめ、9月下旬に全小中学校に送付しました。</p> <p>このリーフレットの表面には、各教科の正答率の詳細や質問事項に関する分析を記載し、裏面には、課題の見られた問題やその改善に向けた指導のポイントを記載しています。</p> <p>また、自校の結果を簡単に比較できるように、自校の値やグラフを書き込めるようにしています。</p> <p>各学校は、分析リーフレットと自校の結果をもとに、校内研究会等で課題を分析し、改善策を検討、実践しています。</p>		

具体的な取組	(2) 積極的な授業公開と研究会の実施	[学校教育課]
	指導主事による学校訪問で、全ての教員が授業を公開します。また、研究会の持ち方と内容を吟味し、実践的で有効な研究を推進します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>年2回の指導主事訪問を実施し、その2回のうちのどちらかで授業公開を再開しました。また、2回のうちのどちらか、または両方で全教員が参観する提案授業を行いました。計画訪問日の放課後には、全教員が参加し、各校それぞれの教育目標の実現に向けて、ワークショップ型、ワールドカフェ方式などによる研究協議会を実施しております。</p> <p>各中学校区の児童生徒の交流が少しずつ再開しました。また、教職員の研究会・研修会は、オンライン会議システム等も併用して行う等、様々な形で開催し、積極的に協議しました。</p> <p>また、各学校が独自の研究会等を開催する際に、要請があれば、市の指導主事が訪問をし、指導助言を行います。要望があれば、指導案検討から関わっています。</p>		

具体的な取組	(3) 読書活動の充実	[学校教育課]
	読書に親しむ環境づくりと読書習慣の形成を図るため、引き続き全小中学校に学校司書を配置します。読書活動を推進することで、文章を読み解き、考える力の育成を図ります。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>全小中学校に学校司書を24人配置し、読書の環境づくりや児童生徒の読書推進に努め、学校図書館の一層の充実を図りました。また、学校司書を対象にした研修を定期的に行い、スキルアップを図りました。</p> <p>各学校では読書活動の推進のために、子どもたちが少しでも手に取りやすいように学級文庫を充実させたり、教科書掲載作品と関連付けた読書、学校司書による読み聞かせやテーマに即して本の紹介をするブックトーク、委員会活動等でビブリオバトルを企画したりするなど本に触れる機会が増えるよう工夫しております。</p> <p>また、併せて、図書を整備を行いました。</p>		

具体的な取組	(4) 英語教育の充実	[学校教育課]
	小学校への小学校専属ALTの派遣回数を増やします。コミュニケーション活動を充実させたり、教科担任の支援をしたりするなどして、授業の質を向上させ、児童の英語に対する興味・関心を高めます。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>小学校専属ALT12人を市内全小学校の3~6年の全学級に派遣し、学級担任や教科担任を支援しました。また、市教委主催の研修のひとつとして、ALTを講師とした教職員研修を実施し、教員に小学校の外国語活動、または英語の授業で活用できるアクティビティを体験していただいています。</p> <p>さらに、福井地区中学校英語教育研究会が主催する中学生英語セミナーを助成していますが、小学校ALTがこのセミナーの運営をサポートしています。</p> <p>授業以外の時間(給食等)の交流については、新型コロナウイルス感染症防止のため、十分にはできませんでした。</p>		

**[施策の方向性] 豊かな心の教育の推進**

具体的な取組	( 1 ) 道徳教育の推進 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>道徳の時間を軸に、各教科や特別活動、学校行事等と関連づけた教育活動全体を通じた道徳教育を推進します。</p> <p>発達段階に応じた心の教育を進め、自己肯定感を感じることができる学級や学校づくりにも取り組みます。</p>
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>学校訪問では道徳の研究授業を行う学校が多くあり、適切な助言等で道徳授業に対する意識を高めることができました。各校種において、優れた授業実践が増えてきました。</p> <p>また、市内の 8 小中学校が「親子で学ぶ道徳講座」を実施し、家庭や地域を巻き込んだ道徳教育の充実を図ることができました。</p> <p>令和 4 年度は全国小学校道徳教育研究大会が福井で開催され、中藤小学校で公開授業を行い、その後の分科会では全国の先生から指導・助言を受け、教員のレベルアップにつなげました。</p>	

具体的な取組	( 2 ) 人権教育の推進 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>いじめや差別のない学校にするために、正しい人権感覚を身につけ、思いやりの心を持って行動できる児童生徒を育てるための取組を支援します。</p> <p>また、研修を通じて様々な人権課題に対応した教育の充実を図ります。</p>
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>いじめや差別のない学校にするために、全小中学校が 4 月に人権教育年間指導計画を作成し、正しい人権感覚を身に付け、思いやりの心を持って行動できる児童生徒を育てる人権教育を計画的に実践することができました。</p>	

具体的な取組	( 3 ) 体験活動の充実 <span style="float: right;">[青少年課]</span>
	<p>全ての子どもたちが、優れた芸術作品に触れる機会を設け、豊かな心を育みます。</p> <p>また、本市の国内外の姉妹友好都市等との交流を通して、互いの都市・文化に対する理解と友好を深めます。さらに、集団での宿泊体験学習や自然体験学習を支援、推進します。</p>
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業及び福井市・結城市友好都市子ども親善大使交流事業を開催し、小学 6 年生の児童たちが互いの市を訪問・交流することで、都市・文化について理解を深め合いました。また、リーダーとしての自覚を持ち、地域の発展に寄与できる児童の育成を行いました。</p>	

**[施策の方向性] キャリア教育の充実**

具体的な取組	( 1 ) 福井市キャリア教育連絡協議会の活動の推進 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>福井市キャリア教育連絡協議会において、キャリア教育プログラムの改善や新規開拓を進めます。</p> <p>また、教科の学習内容と地域の企業の人づくり・ものづくり等を結びつけた授業支援を継続・推進します。</p>
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>福井市キャリア教育連絡協議会を 4 回開催し、福井市キャリア教育プログラムの内容を見直し、実施上の課題等について協議しました。また、次年度のプログラム作成に際し、キャリア教育コーディネーターと学校教育課担当指導主事と協議を重ね、新規プログラムを 5 つ増やすことができました。</p>	

具体的な取組	( 2 ) キャリア教育コーディネーターの活用 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>企業と学校を結び付けるキャリア教育コーディネーターを委嘱し、学校教育に企業の視点を積極的に取り入れます。</p> <p>さらに、実践的かつ体験的なキャリア教育の充実を図ります。</p>
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>キャリア教育コーディネーターが、依頼のあった学校のキャリア教育の指導計画の立案を支援しました。</p> <p>キャリア教育プログラムの実施学級数は 96 学級増加し、目標の 270 学級を大きく上回る 359 学級で実施することができました。</p>	

具体的な取組	( 3 ) 系統性のあるキャリア教育の推進 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>中学校区教育を柱に、学校や地域の特色を踏まえたキャリア教育学習を各種年間計画に取り入れます。</p> <p>また、義務教育 9 年間を見通し、発達段階に応じたキャリア教育を推進します。</p>
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>既存のプログラムに加え、学校現場等の意見や要望を取り入れたプログラムを新たに構築したり、既存のプログラムを改善したりするなど、取り組みをさらに充実させていきます。</p>	

**[施策の方向性] 多様な子どもたちへの支援の充実**

具体的な取組	(1) 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育(包容する教育)の充実 [学校教育課]
	通常学級、通級指導教室、特別支援学級など子どもたちの教育的ニーズに合わせた多様な学びの場の充実を図ります。 また、相互理解のために学校内や学校間の交流促進を図るとともに共同学習が計画的かつ組織的に行われるよう推進します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>特別支援学級と通常学級の児童生徒の交流及び共同学習は、特別支援学級を設置している68校全てで実施しています。</p> <p>また、9月下旬に市内の中学校特別支援学級合同学習会を少年自然の家で、12月には福井・吉田ブロック中学校特別支援学級合同学習会を市体育館で開催し、百人一首や球技大会により他校の生徒との交流を深め、集団の中で望ましい人間関係の育成に努めました。</p>	

具体的な取組	(2) 就学相談・移行支援の充実 [学校教育課]
	「福井市教育支援委員会」において、小学校就学前の子どもや既に就学している児童生徒の相談会を実施し、継続した就学相談を進めることで、園小中の移行支援を充実します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>就学相談について、市教育支援委員会において、令和5年度就学予定児、令和4年度既就学児童生徒の学びの場について検討し、保護者とも合意形成のもと、対象者全員の学びの場の決定につなげることができました。</p>	

具体的な取組	(3) 特別支援教育における支援体制の整備 [学校教育課]
	「福井市特別支援教育専門委員会」において、情報や課題の共有や合同研修会を行い、教育、医療・福祉の連携を深めます。 また、各学校で特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制が構築できるよう「地区別協議会」を充実します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>特別支援教育コーディネーターを、全小中学校に配置しました。特別支援教育コーディネーター会・地区別協議会(年間3回開催)において、教育と福祉の合同研修を行いました。各園、各小中学校、福祉関係者と事例検討をし、移行支援について情報共有を図る場を設けました。また、特別支援教育専門委員会を開催し、特別支援教育コーディネーター会の今後の在り方について検討しました。</p>	

具体的な取組	(4) いじめや不登校の未然防止の支援 [学校教育課]
	<p>学校と教育委員会が情報を共有し、支援が必要な児童生徒への対応を協議するとともに、必要に応じて関係機関と連携した支援を行います。</p> <p>また、各学校において、「いじめ防止基本方針」を見直し、未然防止に向けた取組を進めます。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>「いじめ防止基本方針」の見直しを、全ての小中学校で行いました。また、生徒指導主事連絡会で、いじめ防止基本方針の中でも、特にインターネット上のいじめについての見直しと共有を依頼しました。</p> <p>いじめに関する調査の実施・分析については、毎月各学校で起きたいじめの対応等の調査を行い、きめ細やかな対応につなげました。</p>	

具体的な取組	(5) 教育相談及び配慮が必要な児童生徒への支援体制の充実 [学校教育課]
	<p>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、いきいきサポーター、障害児介助員、日本語指導ボランティア等を活用し、児童生徒を支援する体制を構築します。</p> <p>また、それぞれの資質・能力向上のために研修会等を実施します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>小学校カウンセラーを県のスクールカウンセラーの配置も加味し、各小学校の児童数に応じて派遣しました。また、学校からの申請に応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣しました。</p> <p>さらに、発達障害や不登校傾向にある児童生徒が抱える学校生活の問題に対応するため、いきいきサポーターを配置し指導や相談、支援を行いました。また、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の学校で学べる環境を目指すため、肢体不自由・病弱等の児童生徒に対し介助員の配置を行いました。</p> <p>また、外国人児童・生徒の転入生に対し、日本語指導ボランティアによる個別初期指導を行いました。</p>	

具体的な取組	(6) 学校不適應児童生徒への支援 [学校教育課]
	<p>学校不適應対策推進会議において、福井市適應指導教室「チャレンジ教室」の活動をより一層充実させるとともに、大学と連携し、ライフパートナー支援事業を活用して、学校不適應の児童生徒を支援します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>学校不適應対策推進会議を開催し、不登校の児童生徒の現状、ライフパートナー活動などについて報告・協議を行いました。4年度はチャレンジ教室のWi-Fi環境を整え、来年度に向けてオンラインによる学習ができるよう取り組みました。</p> <p>また、6月と11月に1週間のオープン教室を実施しましたが、17人から相談を受けるなど一定の効果がありました。</p>	

**[施策の方向性] 園小接続の推進**

具体的な取組	(1) 園と小学校との連携の強化 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>幼児期の教育に関わる教員や保育士と小学校教員が、互いの教育を理解し合うために、授業や保育を公開し、合同研修会を実施します。</p> <p>また、小学校区において園小連絡協議会を開催し、園小接続カリキュラムを作成して、円滑な接続を図ります。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>接続推進計画による連携交流のうちの1回を、校区の園小関係職員が集まっている小学校と、学校教育課をオンラインでつなぎ、コロナ禍の中であっても、園小の円滑な接続という目的のための取組について研修する機会を設け、目的を共有して取り組むことができました。</p>	

具体的な取組	(2) わくわく交流デー の充実 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>平成21年度から全小学校一斉に実施している「一日体験入学」の一層の充実を図り、幼児が小学校生活へのつながりを実感し、意欲を持って就学できるように支援します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、市内一斉に新1年生の小学校1日体験「わくわく交流デー」を実施しました。実施前には、各小学校区の園と小学校が活動の持ち方について共通理解を図り、園から小学校への円滑な接続を意識した取組を行うことができました。</p>	

具体的な取組	(3) 保護者への支援 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	<p>小学校への就学の不安を抱える保護者への支援を行うほか、家庭の教育力が向上するよう、園や学校と連携をとりながら情報提供の充実を図ります。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>園での子どもの様子を、ミニお便りや玄関掲示等でタイムリーに伝えるように心がけ、子どもの成長を実感しお子さんを安心して園に預けていただくことができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、公民館と連携した子育て広場の開催はできませんでした。</p>	

**[施策の方向性] ICTを活用した教育の推進**

具体的な取組	(1) 研修の充実と事例の共有 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	ICTを活かした教育を推進するために、研修の機会を充実させるとともに、実際の子どもの姿を通して研究を深めることができるよう授業公開を進めていきます。各学校での成果をグループウェアで共有し、市内の学校に成果を広めます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>集合型の研修をはじめ、校内研修に指導主事が参加するなど研修の充実に努めました。また、学校での端末活用が広まり、指導主事訪問等で、全ての学校でタブレットを使った授業公開も行われました。</p>	

具体的な取組	(2) GIGAスクール サポート体制の充実 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	1人1台端末環境でのネットワーク環境とタブレット端末を活用するため、専門知識を持った人員を配置し、ネットワークやハードウェア、ソフトウェアのトラブル等に対処するサポート体制の充実を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>市内4つの拠点校にGIGAスクールサポーターを配置し、要望に応じて学校に出向き、ネットワークトラブルへの対応やタブレット端末の初期化、学校のホームページ確認などの作業を行いました。</p>	

**[施策の方向性] 教職員の資質向上の推進**

具体的な取組	(1) 教職員研修の充実 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	教職員の資質・能力の向上を目指すための「福井市教職員校務別研修・目的別研修」では、参加・体験型の研修に加えて、福井市の施設や企業・団体等と連携を図ることで、より一層内容の充実を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>福井市研修企画委員会を3回開催し、目的別研修や校務別研修について意見をいただき、研修の内容を設定しました。</p> <p>福井市教職員目的別研修については、28講座開催し、延べ889人が受講しました。教育の専門職として、豊かな人間性やコミュニケーション能力など総合的な人間力の向上につながる研修となりました。</p> <p>福井市教職員校務別研修については、4講座開催し、各講座に全小中学校の校長、教頭、教務主任が受講しました。それぞれの校務を担当する教職員の実践力向上につながる研修が実施されました。</p>	



具体的な取組	(2) 学校における業務改善	[学校教育課]
	学校における業務改善に向けて、諸帳簿の削減や押印の廃止、デジタル化を推進します。また、教職員の行うべき業務の精選により超過勤務を縮減し、学校で働く一人ひとりが健康で生き生きとやりがいを持って勤務できる環境づくりを推進します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
出退勤管理システムによる教員の勤務時間の管理、留守番電話導入による保護者が学校へ電話連絡できる時間帯の周知、オンライン会議やオンライン研修の積極的活用、週1回のノー残業デーの導入、学校行事の見直し、教育委員会への提出物の削減や電子メールによる回答など、多方面からの負担軽減に努めています。		

具体的な取組	(3) 福井大学教職大学院との連携	[学校教育課]
	福井大学教職大学院と連携し、本市の教職員が実践研究や組織マネジメントを進めていけるよう支援します。 また、福井大学教職大学院に入学する教員への授業料補助などの支援を継続します。 さらに、教職大学院修了者や県が認定した授業名人等の核となる教員を活用した研修を開催し、授業改善や学級づくりなどの研究を進めます。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
福井大学連合教職大学院へ派遣する教員に対して、入学時及び在学中に要する経費を補助することで教員の進学を促し、教職大学院との連携を深めていきます。 この取組により、令和4年度は1年履修コースに3名の派遣が決定しました。		

政策分野 学校教育

方針 2 食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する

計画の成果目標

成果指標：肥満傾向にある児童の割合					(保健給食課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	8.1%以下	7.7%以下	7.3%以下	6.9%以下	最終年度目標
実績	8.5%				6.5%以下

[施策の方向性] 安全安心でおいしい学校給食の提供と食育の推進

具体的な取組	(1) 食育の推進及び地場産食材の活用	[保健給食課]
	<p>栄養教諭や学校栄養職員が、食育教材等を活用し、望ましい食習慣や特有の食文化など食の指導に取り組みます。</p> <p>また、子どもたちが地域の食文化への関心を深め、福井に愛着を持てるよう、子どもたちが考えた地場産食材を活用した献立を給食に取り入れていきます。</p>	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>福いいね！給食、ふるさと給食については、地場産の活用や郷土料理等を積極的に取り入れ、年間10回実施しました。また、姉妹都市・友好都市記念事業給食及びホストタウン交流給食については、対象地域の郷土料理等を取り入れ、年間4回実施しました。</p> <p>その他、食に関する指導計画に基づき、小中学校において、栄養教諭等による食育指導を年間876回行いました。また、毎月発行している給食だよりや、食に関するクイズ形式の資料(食育チャレンジ)等を通して、望ましい食習慣に加えおやつを取り方等、栄養に関する正しい知識の習得と、食への興味・関心を高められるよう児童生徒及び保護者への啓発を行いました。</p> <p>さらに、地域の特産品(野菜等)を紹介することで、子どもたちが地域の食文化や歴史的つながり等を学び、地域への愛着を深めてもらう機会になりました。</p>		

具体的な取組	(2) 給食施設の整備 <span style="float: right;">[保健給食課]</span>
	<p>施設の老朽化や学校給食衛生管理基準、食物アレルギーへの対応に向け、新しい学校給食センターを整備します。</p> <p>さらに大規模単独調理校 においては、ドライシステム化 など、施設・設備の整備を推進します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>給食施設の老朽化や学校衛生管理基準、食物アレルギーへの対応に向け、新学校給食センターの整備事業を進めており、令和4年度は、新学校給食センターの建設に着手し、令和6年4月の供用開始に向け準備を進めています。</p> <p>また、単独調理校については、学校の大規模改修等に合わせて、ドライシステムへの改修に取り組んでいきます。</p> <p>現在は、ドライ運用で学校給食の衛生管理の徹底に努めています。</p>	

**[施策の方向性] 心身ともに健やかに育つ学校保健の充実**

具体的な取組	(1) 健康教育の充実 <span style="float: right;">[保健給食課]</span>
	<p>児童生徒が心身の健康保持増進に必要な知識、能力、生活習慣を身につけるため、学校保健委員会等の取組や保健学習、保健指導など健康教育を充実していきます。</p> <p>新たな健康問題である視力の低下について、眼科医監修のもと夏季休業中等に活用できる市独自の「目の健康カード」を作成し、目の健康に対する意識の向上を目指します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>学校保健委員会 1の開催や、日々の保健指導等を通して、目や歯の健康、規則正しい生活習慣等に対する児童生徒の意識向上に努めました。</p> <p>各校においては、小学 1、2 年生を対象に、虫歯予防に関するリーフレット等を配布したほか、養護教諭と学級担任等が協力し、目の運動等を行うビジョントレーニングの実施や姿勢を良くする運動等を行いました。</p> <p>さらに、眼科医監修のもと、視力低下予防のための「目の健康カード」を作成し、各小中学校に配布し、規則正しい生活習慣の定着を図りました。</p> <p>また、コロナの影響による活動の低下を防ぐために、福井市の体操「元気体操 21」を小学生対象に普及啓発を行いました。</p>	

- 1 校長・養護教諭等教職員、学校医・学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係の代表などを委員とし、各学校において健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織

具体的な取組	( 2 ) 学校・家庭・関係機関の連携	[保健給食課]
	各学校において視力の追加検診を実施し、近視予防と治療の促進などの対策を早期に講じられるように学校、家庭、関係機関の連携を図ります。	
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、学校、家庭、学校三師（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）、保健所等の関係機関と連携を図りました。</p> <p>保健所や学校三師等と連携しながら本市独自の「学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を改正し、感染予防に努めました。また、家庭における日々の健康観察やマスクの適切な着用、手洗い、換気等基本的な感染症対策についても、学校を通じて保護者に依頼しました。</p> <p>目の健康に関しては、春の定期健康診断に加え、秋に視力追加検診を各学校において実施するよう依頼しました。</p>		

**[施策の方向性] 生き生きと運動に取り組む学校体育の充実**

具体的な取組	( 1 ) 児童生徒の体力維持向上	[保健給食課]
	各学校において、毎年実施する体力・運動能力調査の結果を調査分析し、児童生徒の体力の現状や課題の把握に努めます。全国や県と比較し、市の課題や自校の課題を解決するための運動や休み時間における自由遊び、異学年交流遊び等、様々な活動に年間を通して取り組みます。	
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>前年度までの本市の実態や傾向について、全小中学校に参考資料として示し、投力や全身持久力に課題があることなどを伝えました。また、各校においても前年度の結果や過去の記録等から課題を洗い出し、必要な運動や休み時間における自由遊び等の活動を企画・立案する「児童生徒体力づくり推進計画書」を作成するよう指導しました。</p> <p>各校では、その計画に基づき、教育活動全般を通して運動の実施とその後の評価を行い、次年度の計画に反映しました。</p> <p>また、児童の体力向上につなげるため、有酸素運動と筋力運動を組み合わせた福井市の体操「元気体操 21」の講習会を小学校の体育主任に対して行いました。</p>		

具体的な取組	(2)運動部活動の地域移行 に向けた調査・研究	[保健給食課]
	休日の部活動の地域移行に向けた研究評価委員会を設けて、市内モデル校と部活動を選定します。民間委託と豪同部活動に試験的に取り組み、課題の整理や今後のあり方の研究を行います。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>中学校の運動部活動では、生徒にとって望ましい持続可能なスポーツ環境の構築や教職員の働き方改革を推進するため、地域運動部活動研究評価委員会を設置し、モデル事業を通して研究評価を行いました。</p> <p>委員会では、市内9校の剣道部を対象としたモデル事業の選定や、生徒・保護者を対象としたアンケートの実施などを行い、課題の整理や今後の展望・方向性等について検討しました。</p> <p>モデル事業では、参加した生徒から技術向上や専門的な指導が受けられたことに成果があったとした意見が多かった一方で、指導者の確保や会場までの送迎に関する課題も挙げられました。</p>		

政策分野 学校教育

方針 3 安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む

計画の成果目標

成果指標：小中学校特別教室の空調設備整備率					(教育総務課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	87%	100%	100%	100%	最終年度目標
実績	87.5%				100%

[施策の方向性] 安全で快適な学校施設の整備

具体的な取組	(1) 学校施設の老朽化対策	[教育総務課]
	学校施設の整備については、劣化度調査における老朽化の状況や福井市施設マネジメント計画等の各種計画を踏まえるとともに、将来的な学校施設の規模適正化を見据え、計画的に進めます。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
酒生小学校体育館の大規模改修に向けた実施設計を行ったほか、老朽化が進展している木田小学校及び明倫中学校への対応を検討するための耐力度調査を行いました。本調査の結果を踏まえ、引き続き、両校の大規模改修に向けた取り組みを進めていきます。		

具体的な取組	(2) 学校施設の安全性の確保	[教育総務課]
	長寿命化(大規模改修等)の改修時期を踏まえながら、10年1サイクルとする外壁の点検、対策などの定期的な予防保全を引き続き進め、学校施設の安全性を確保するとともに、災害時における避難所としての機能強化を図ります。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
校舎等の経年劣化による外壁の落下を未然に防止するための落下防止対策に加え、令和4年度からは外壁塗装や屋上防水を行うことで、施設全体の延命化を図りました。引き続き、計画的に整備を行いながら学校施設の安全性を確保していきます。		

具体的な取組	(3) 「新たな日常」に向けた学習環境の整備	[教育総務課]
	感染症対策や暑さ対策として、未整備となっている理科室などの普段使用する全ての特別教室への空調整備を進めます。 また、各学校の実情に応じ、校舎やトイレのバリアフリー化を進めます。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
未整備となっている特別教室への空調について、令和4年度は13小学校(82教室)、8中学校(40教室)への整備を行いました。引き続き、全ての小中学校への空調設備の整備完了に向けた取り組みを進めていきます。		

**[施策の方向性] ICT環境の整備**

具体的な取組	(1) ネットワーク環境の整備 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	無線LANの整備を進めるとともに、センターサーバを改修し、セキュリティ確保と大容量コンテンツ利用を両立し、安全に利用できる環境を構築していきます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>センターサーバを専用クラウドに移行するとともに、学校からの回線を増強し、1人1台端末を快適に活用できる高速ネットワーク網を整備しました。</p> <p>学校での高速ネットワークは、通常教室や特別教室、職員室に整備がされていますが、今後は、可動式のアクセスポイントを利用するなど、会議室や相談室、校舎内で電波がつながりにくい場所等でもよりよいネットワーク環境にすることが課題と考えます。</p>	

具体的な取組	(2) 教職員授業用タブレット端末の整備 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	個人情報扱う校務用ネットワークを保護するとともに、児童生徒用タブレットをより活用するために、教職員授業用タブレット端末を導入し、授業で使いやすい環境を整備します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
教職員用タブレットの整備が進み、100%の整備率を達成しました。また、フィルタリングの強化を行いました。	

具体的な取組	(3) 児童生徒用タブレット端末の更新 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	順次、児童生徒用タブレットの更新を進める中で、常に安全で快適にICT機器を活用できる環境を構築していきます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>児童生徒用タブレットは令和2年度に整備していますが、その耐用年数はバッテリーが弱ってくることから、およそ5年と考えており、令和6年度から更新を予定しています。</p> <p>ただし、令和2年度にまとめて購入しているため、一度にすべての端末の更新は財政上厳しいことから、年間の更新台数が均等になるように整備していきます。</p>	

**[施策の方向性] 安全安心な通学路の確保と安全教育の推進**

具体的な取組	(1) 通学路安全プログラムに基づく取組 [保健給食課]
	学校等が把握した通学路危険箇所について、関係機関による通学路安全推進会議や合同点検を実施し、その対策を検討するとともに、各機関による安全対策を講じます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>通学路安全プログラムに基づき、「交通安全」、「防犯」、「防災」の観点から、学校等が把握した通学路危険箇所について、道路関係者や警察等関係機関の代表等を委員とする通学路安全推進会議を開催し、情報共有、合同点検、安全対策の検討を行いました。その結果、令和4年度は、42箇所の危険箇所を改善しました。</p> <p>改善内容は、路側帯等の道路標示の塗り直しや歩道橋上り口破損個所の補修、転落防止柵の設置等を行いました。</p>	

具体的な取組	(2) 安全教育の推進 [保健給食課]
	<p>各学校において作成した学校安全計画に基づき、対象学年に合わせた安全教育を実施します。</p> <p>また、避難訓練実施の際には事前・事後指導を通じて、児童生徒が主体的に判断し、適切な行動を取れるよう指導します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>各学校において「学校安全年間計画」を策定し、それに基づいて、安全教育や避難訓練を実施しました。</p> <p>各学校では、児童生徒が安全確保のための適切な行動を自分で考え判断できるよう、授業中だけでなく、休み時間や登下校時など、大人が近くにいない場面での災害を想定した訓練や、大雪と地震が同時に起こる複合災害の場合の準備について考える等の取組を行いました。</p>	

**[施策の方向性] 学校規模の適正化**

具体的な取組	(1) 福井市北部地域学校規模適正化基本計画に基づく取組 [教育総務課]
	急激に児童生徒数が増加している森田地区の規模適正化を図るため、河合地区も含めて策定された北部地域学校規模適正化基本計画に基づき、適正化を推進していきます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>北部地域の学校規模適正化を図るため、令和8年4月に開校を予定している新中学校（九頭竜中学校）の用地を取得したほか、建設に係る基本設計及び実施設計に取り組みました。また、生徒数が急増する森田中学校について、増築に向けた実施設計を行いました。</p>	



具体的な取組	(2) 学校規模適正化に向けた取組の推進 <span style="float: right;">[学校教育課]</span>
	答申で提言された地区において、保護者会やPTAなどと意見交換会などを行いながら、規模適正化に向けた取組を推進していきます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>通学区域審議会を2回開催し、北部地域新中学校整備に伴う河合地区の中学校通学区域の変更と、殿下中学校廃校に伴う殿下地区の中学校通学区域の変更に取り組み、通学区域を決定しました。</p> <p>また、新中学校の校名検討委員会を2回開催し、地区で公募した「九頭竜中学校」を校名と決定しました。</p>	

政策分野 学校教育

方針 4 家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る

計画の成果目標

成果指標：「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童の割合（小学校）（青少年課）					
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	88.4%	90.0%	91.6%	93.3%	最終年度目標
実績	87.9%				95.0%

成果指標：「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる生徒の割合（中学校）（青少年課）					
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	87.0%	89.0%	91.0%	93.0%	最終年度目標
実績	85.3%				95.0%

[施策の方向性] 情報モラル教育の推進

具体的な取組	（１）児童生徒及びその保護者を対象とした情報モラル講習会の開催 [青少年課]
	家庭においても保護者と児童生徒が話し合いながらインターネット利用にかかるルールづくりを行うよう促します。 また、フィルタリングの重要性について周知徹底を図ります。
令和４年度の主な取組内容と成果・課題	
インターネットを起因とするトラブルを防止するため、市内小中学校等において情報モラル講習会を 111 回実施しました。	

具体的な取組	（２）これから親になる世代を対象とした情報モラル講習会の開催 [青少年課]
	市健康管理センターが実施している妊婦検診など（例：「パパママ教室」、 「プレママ教室」）に併せて、「スマホ育児」の弊害について事例を紹介し、 注意喚起します。
令和４年度の主な取組内容と成果・課題	
市健康管理センターが行う「プレママ教室」は新型コロナウイルス感染症により、開催され なかったため次年度に実施する予定です。	

**[施策の方向性] 家庭や地域、関係機関・団体が連携した青少年の健全育成**

具体的な取組	(1) 家族のふれあいの推進 <span style="float: right;">[青少年課]</span>
	「家族のふれあい」をテーマとした絵手紙コンクールを開催し、入賞作品展を通して明るい家庭づくりを推進します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>家族のふれあいをテーマとした「絵手紙コンクール」を実施し、優秀作品の展示を通してコミュニケーションの大切さを呼びかけました。</p> <p>令和4年度は5,949点の応募があり、優秀作品展示を5会場（アオッサ、ベル、MEGAドンキ、ワイプラザ新保、県ふるさと文学館）で実施しました。</p>	

具体的な取組	(2) 青少年の健全育成活動への支援 <span style="float: right;">[青少年課]</span>
	<p>青少年育成福井市民会議がPTA、自治会等と連携して取り組む青少年の健全育成を目的とした活動を支援します。</p> <p>また、「夕方見守り運動」を推奨し、広く協力を呼び掛けていきます。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>青少年育成福井市民会議がPTAや地域などが取り組む、小学生の見守りや中学生の安全確保に係る活動に対し、支援を行いました。</p>	

具体的な取組	(3) 放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保 <span style="float: right;">[放課後児童育成室]</span>
	<p>保護者の就労等により放課後留守家庭となる児童に対し、小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊びや生活の場を確保し、放課後の児童健全育成に努めます。</p> <p>また、地域の人々と連携しながら、様々な体験活動を行う「放課後子ども教室」を公民館や小学校において実施します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>森田地区で児童クラブを1か所新設しました。また、児童クラブの利用ニーズの高まりから入会児童数が増え、児童クラブ職員の負担増などの課題解消に向け、市が委嘱した学童保育巡回アドバイザーを派遣し、児童クラブ職員の資質向上や児童にとってより良い居場所づくりの充実を図りました。</p>	

政策分野 生涯学習、スポーツ

方針 5 福井への誇りや愛着が持てるふるさと教育の充実を図る

計画の成果目標

成果指標：中央公民館「福井学」講座の年間参加者数					(生涯学習課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	660人	-	-	-	最終年度目標
実績	743人				720人

[施策の方向性] ふるさと教育の推進

具体的な取組	(1) 福井の魅力を体感する活動の推進	[学校教育課]
	子どもたちが、地域の歴史や自然、文化等を学ぶ活動を通して、ふるさと福井の人、物、伝統等の魅力を体感する活動を推進します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
小中学校の校外学習等では、感染症対策を行いながら総合的な学習の時間と関連づけながら、福井の良さを実感できるような学習を行うことができました。		

具体的な取組	(2) 郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進	[学校教育課]
	中学2年生の時に立志式を行うことで、郷土の偉人である橋本左内の功績に理解を深めるとともに、将来の決意や目標を明らかにし、夢や希望を持って生きようとする意識の向上を図ります。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
毎年、中学2年生が立志式を行い、橋本左内の生き方や功績に理解を深め、各自が将来の決意や目標を明らかにしていきます。今年度は、保護者の参観者数を制限しつつ、コロナウイルス感染症対策を行い工夫して実施しました。		

具体的な取組	(3) 副読本「ふるさと福井の人々」の活用	[学校教育課]
	全小学5年生に、副読本「ふるさと福井の人々」を配布し、授業等で活用することで、福井の偉人について学び、子どもたちがふるさと福井への誇りを持つような心情を育てます。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
毎年、全小学5年生に配付しており、小学5・6年生では社会科を中心とした授業や調べ学習、読書等で活用しています。歴史上の人物が多く掲載されているため、5年生よりも6年生で活用する割合が高くなっています。		

**[施策の方向性] 福井の魅力を学び、発信できる環境づくり**

具体的な取組	(1) 福井学の全地区における継続的な実施 <span style="float: right;">[生涯学習課]</span>
	郷土学習を継続的に進め、自分の住む地区についての再認識、誇りの醸成を促すため、「福井学事業」を継続的に実施します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>中央公民館や地区公民館において福井の自然や歴史、文化、産業、まちづくり等、幅広いテーマで講座を実施しました。</p> <p>今後も、福井学を通して地域を見つめなおす機会を創出するとともに、郷土の魅力を発信できる人材育成に取り組んでいきます。</p>	

具体的な取組	(2) ICTを活用した事業の開催及び中央公民館と地区公民館の連携 <span style="float: right;">[生涯学習課]</span>
	ICTを活用し、新規の受講を促すとともに、オンライン会議システムを活用し、中央公民館の講座を地区公民館で受講できるようにしたり、中央公民館を含めた複数館による共同講座等を実施したりするなど、学習環境の向上を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>中央公民館の福井学講座を、Zoomで地区公民館に配信するなど、学習環境の向上を図りました。</p> <p>今後も、中央公民館と地区公民館の連携を推進するとともに、教育事業などにICTを活用し、公民館に来ることができない人にも講座等へ参加する機会を提供していきます。</p>	

具体的な取組	(3) 学習情報の提供 <span style="float: right;">[生涯学習課]</span>
	学習の取組内容をパネル展示するとともに、市ホームページやSNS等に掲載し、公民館や展示会に来られない人にも活動内容の情報を提供します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>福井学の成果展示会を開催するとともに、取組内容をホームページに掲載し、情報提供を行いました。</p> <p>今後も、さまざまな広報媒体を通じて情報を発信するとともに、講座への若年層の参加を促すため、学校を通じての情報提供に努めます。</p>	

政策分野 生涯学習、スポーツ

方針 6 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する

計画の成果目標

成果指標：公民館の年間利用者数					(生涯学習課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	816,000 人	842,000 人	868,000 人	894,000 人	最終年度目標
実績	523,078 人				920,000 人

成果指標：図書館の利用満足度					(図書館)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	89.3%	-	-	-	最終年度目標
実績	89.4%				89.3%

[施策の方向性] 公民館を活用した多様な学習機会の提供

具体的な取組	(1) 公民館事業の充実	[生涯学習課]
	公民館では地域の特色を活かした、各種教育事業（家庭教育事業、少年教育事業、青年教育事業、福井学事業、地域課題解決事業）を実施します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
地域の特色を生かし、多様な学習ニーズや地域課題の解決を重視した各種教育事業を実施しました。		
今後も、教育事業、地区との共催事業などを積極的に行い、公民館事業の充実に努めます。		

具体的な取組	(2) 地域の各種団体の連携促進のためのコーディネート [生涯学習課]
	<p>社会教育関係団体の活動を支援するとともに、地域のコーディネーターとして、団体・グループ・個人をつなぎ、連絡調整を中心に多様な地域活動を支援します。</p> <p>また、中央公民館においては、市内全域を対象とする公民館として、教育事業の実施のほか地域で活躍する人材の育成や公民館情報の収集・発信に努め、公民館ネットワークの中心的役割を果たします。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>地区公民館では、地域コミュニティの機能保持・活性化を図るため、地域のコーディネーターとして地域活動の支援及び連絡調整を行いました。また、中央公民館では、イベントの中で地区公民館のグループ活動発表の場を提供するなど、公民館ネットワークの中心的役割を果たしました。</p> <p>今後も、地区公民館においては、地域の中核的な活動拠点として、人と人、人と地域を結ぶ機能の充実に努めるとともに、中央公民館においては、地区公民館との連携を深め、特性を活かした事業を推進します。</p>	

**[施策の方向性] だれもが利用しやすい生涯学習施設の充実**

具体的な取組	(1) 施設の整備 [生涯学習課]
	<p>公民館が地区の中核的な施設として機能できるよう、施設の新築や改修等、計画的に整備を進めます。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>施設の耐震性、老朽化、狭あい度合、地区の人口形態などを総合的に勘案し、計画通り整備を実施しました。</p> <p>今後も、継続的かつ計画的な整備を実施していきます。</p>	

具体的な取組	(2) 施設の維持管理 [生涯学習課]
	<p>利用者が安全安心に利用することができるよう、適正な施設の維持管理に努めます。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>公民館利用者の利便性の向上を図り、円滑な公民館運営ができるよう老朽化や緊急度を勘案しながら、施設や設備の補修・改修を行い、機能の充実に努めました。</p> <p>今後も、継続して適正な施設の維持管理に努めます。</p>	

**[施策の方向性] 市民憲章運動の推進**

具体的な取組	(1) 普及啓発 <span style="float: right;">[生涯学習課]</span>
	市民憲章唱和や福井を美しくする運動（市民一斉清掃）の実施などを通じ、市全域における市民憲章運動の浸透を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>年3回の福井を美しくする運動や、花苗即売会、花壇コンクールを実施し、福井のまちを彩る市民活動を推進しました。また、市民憲章の市民へのより一層の浸透を図るため、全ての小学3年生、中学2年生に啓発グッズを配布しました。</p> <p>今後も、市民一人ひとりがその趣旨を理解し、実践することができるよう、5つの項目、5つの実践目標の周知に努めていきます。</p>	

具体的な取組	(2) 支部実践活動の推進 <span style="float: right;">[生涯学習課]</span>
	市内49地区に設置した支部において、公民館活動と連携しながら、花いっぱい運動など実践活動の推進を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、事業内容や活動方法を工夫しながら、市内49全ての支部において、地域の特性に応じた幅広いテーマで活動を実施しました。</p> <p>今後も、公民館活動や地域活動との連携を図り、地域における運動が定着するよう支援していきます。</p>	

具体的な取組	(3) 団体実践活動の推進 <span style="float: right;">[生涯学習課]</span>
	賛同団体が行う情報発信等の広報活動を支援します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、事業内容や活動方法を工夫しながら、各団体の特性に応じた活動を実施しました。</p> <p>今後も、団体同士及び団体と市関係機関との連携を図り、団体活動における運動が定着するよう支援していきます。</p>	



**[施策の方向性] 市民ニーズに対応した図書館サービスの提供と市民の交流促進**

具体的な取組	(1) 市民ニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実と情報発信の強化 [図書館]
	市民が自主的に行う生涯学習を支援するため、各館の役割と特色を活かし、多様化する市民ニーズに対応する幅広い資料を収集、整理、保存し、提供します。 また、各種広報やSNS等を活用して、行事案内、ブックリスト等の情報発信を強化し、図書館の利用促進を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
資料の情報発信の強化として、市民がわかりやすく本を選び、新たな本に出会う機会を創出するため、司書が手作りしたポップを使用し、本を積極的に紹介するなど、読書活動の推進を図りました。	

具体的な取組	(2) 郷土資料等の収集とレファレンスサービスの充実 [図書館]
	図書館は地域の情報拠点であることから、冊子形態のほか、チラシ、リーフレット等の郷土資料も積極的に収集し、提供、活用を図っていきます。 また、レファレンスサービスを充実し、市民が、暮らしや仕事、地域の課題を解決するために必要な資料、情報を提供します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
図書館が所蔵する貴重な郷土資料である「越國文庫」について、国文学研究資料館と連携してアーカイブ化を進めました。それらをホームページで公開し、多くの閲覧機会を設けることで、学術研究への活用の促進を図っていきます。	

具体的な取組	(3) 交流拠点の整備によるグループ等活動の促進 [図書館]
	新たに市立図書館に市民が交流できる拠点を併設し、地域の課題に取り組むグループ等の活動や交流を支援するとともに、周辺施設と連携してにぎわいを創出します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
市民の交流の場として、図書館に地域交流センターを併設した複合施設として整備を進めています。地域交流センターには、120名収容可能な多目的ホールや活動室を設置しており、完成後は、発表会や研修などの開催により、グループ活動の促進を図ります。	

**[施策の方向性] 効果的・効率的な図書館運営と環境整備**

具体的な取組	(1) 利用時間と運営体制の整備 <span style="float: right;">[図書館]</span>
	各館において、市民が利用しやすい開館日や開館時間を設定します。 また、職員の専門性を活かしサービス向上を図るとともに、効果的・効率的な図書館運営に努めます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
市民が利用しやすく、わかりやすい開館日及び開館時間になるよう検討を行いました。市立図書館がリニューアル開館する令和6年度から、開館時間の延長拡充や、休館日が重ならないための変更を行う予定です。	

具体的な取組	(2) 図書館の施設整備 <span style="float: right;">[図書館]</span>
	老朽化が進む市立図書館のリニューアルに取り組むほか、安全・安心で、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい図書館となるよう環境づくりに努めます。 また、図書館に来られない方でも利用できる電子書籍の導入を検討します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
令和4年9月に市立図書館のリニューアル工事を着工し、令和6年春のリニューアルオープンを目指した工事を着実に進めています。また、電子書籍の導入についても検討を行いました。	

具体的な取組	(3) 生活様式の変化などに対応した利用しやすく居心地の良い環境の整備 <span style="float: right;">[図書館]</span>
	感染症対策とプライバシーを尊重する観点から、利用者自身で貸出の手続きができる自動貸出機の整備拡充を検討するとともに、利用しやすく居心地の良い空間となるよう閲覧席等の配置やWi-Fiなど環境の整備を進めます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
市立図書館とみどり図書館に図書自動貸し出しを導入するため、図書にICチップ付きタグを貼付するなどの準備を行いました。みどり図書館は令和6年2月に、市立図書館は令和6年5月のリニューアルオープンにあわせて、自動貸出を開始する予定です。	

政策分野 生涯学習、スポーツ

方針 7 ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する

計画の成果目標

成果指標：体育施設の年間利用者数					(スポーツ課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	820,000 人	940,000 人	1,060,000 人	1,180,000 人	最終年度目標
実績	1,003,490 人				1,300,000 人

[施策の方向性] 時代のニーズに応じたスポーツ環境の充実

具体的な取組	(1) スポーツ施設の再編整備 [スポーツ課]
	<p>スポーツ公園サッカー場について、天然芝グラウンドを人工芝グラウンドにし、更にナイター照明やクラブハウス等も設置することで、フットボールセンターとして整備し、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>また、開発グラウンド等の屋外施設については、ナイター照明のLED化や防球フェンスの改修を行います。</p> <p>屋内施設については、地域体育館等の照明のLED化や競技面(床)の改修を行います。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>施設マネジメントアクションプラン(第1期)において、機能廃止の方針となっていた、美山庭球場「ウイंक」、川西テニスコート、大安寺キャンプ場の体育施設を機能廃止としました。また、スポーツ公園サッカー場については、人工芝グラウンドやクラブハウスなどを備えたフットボールセンターとして、令和6年3月の供用開始を目指し整備を進めております。</p>	

[施策の方向性] 生涯にわたるスポーツ活動の充実

具体的な取組	(1) 生涯スポーツの推進 [スポーツ課]
	<p>気軽に取り組めるニュースポーツの出前講座や体験会等、スポーツ推進委員を通じて、スポーツの楽しさを体感できる事業の充実を図ります。</p> <p>また、ライフステージに応じた事業として、市民の意見も組み入れながらスポーツ教室やファミリーミニマラソン大会を継続して開催します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響がありました昨年度までとは異なり、例年通り、春・秋の体操教室を開催するとともに、新たにノルディックウォーキング教室を開催し、生涯スポーツの推進に努めました。また、感染対策を十分に講じて、ファミリーミニマラソン大会や、外部団体が主催するニュースポーツフェスタ、市民スポーツレクリエーション大会も3年振りに開催でき、親子でスポーツを楽しむ機会を提供することができました。</p>	

具体的な取組	( 2 ) 各種スポーツ事業の充実 <span style="float: right;">[スポーツ課]</span>
	福井市スポーツ協会に加盟する団体が実施する各種事業を支援し、様々な大会、教室を開催することで、身近でスポーツに参加できる活動の場の充実を図ります。
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
市民スポーツ大会は、総合開会式を中止するなど一部規模を縮小しましたが、30 競技で大会を実施し市民約 5,000 人が参加しました。また、種目別スポーツ事業も 36 競技で 74 の大会等を実施し、各種スポーツ事業の充実を図りました。	

具体的な取組	( 3 ) スポーツ情報の発信 <span style="float: right;">[スポーツ課]</span>
	より多くの市民がスポーツに親しめるよう、福井市スポーツ協会とも連携し、市内、県内のスポーツ情報を広く発信していきます。
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
市主催のスポーツイベント等を、市政広報やホームページに掲載するとともに、SNS を活用して情報の発信と拡散に努めました。	

### [施策の方向性]      **スポーツを活かしたまちづくりの推進**

具体的な取組	( 1 ) スポーツ応援文化の醸成 <span style="float: right;">[スポーツ課]</span>
	県内トップスポーツチームと連携し、それらのチームを応援することで、「みる」「ささえる」楽しさを体感し、スポーツの裾野拡大を図ります。
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
地元トップスポーツチームの福井ユナイテッドFC と連携し、市民ホールにおいてチームを紹介するパネル展や、選手とのサイン会を開催しました。また、8 月には 9 . 9 8 スタジアムにおいて、福井市民応援デーを開催し、応援文化の醸成を図りました。 さらには、スポーツチーム応援団員に対してメールマガジンを定期的に配信し、スポーツに関する情報を発信しました。	

具体的な取組	( 2 ) スポーツを通じた地域の活性化 <span style="float: right;">[スポーツ課]</span>
	本市がコーディネーターとなり、県内トップスポーツチームと企業や地域団体等とをマッチングさせることで、これまでスポーツに関わりがなかった人を取り込み、地域の活性化につなげていきます。
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題	
まちづくり福井と共催し、ハピテラスにおいて吉田正尚選手が出場したワールドベースボールクラシック ( W B C ) のパブリックビューイングを全 3 試合開催し、延べ 1,130 人の方にご来場いただくなど、スポーツを通じた地域の活性化を図りました。	

**[施策の方向性] スポーツを通じた交流人口の拡大**

具体的な取組	(1)フルマラソン大会の開催	[スポーツ課]
	県や坂井市と連携し、北陸新幹線福井開業に合わせ、フルマラソン大会「ふくい桜マラソン」を開催します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>県や坂井市および関係機関が一丸となって開催準備や大会運営に万全を期すべく、実行委員会を設立し、準備を進めました。また、10月には新九頭竜橋開通メモリアルランを、3月には1年前プレ大会「TRIAL RUN 2023」を開催し、フルマラソン大会運営計画の実証や、本大会に向けた機運の向上に繋がりました。</p>		

具体的な取組	(2)ランニングコースの整備	[スポーツ課]
	マラソン人口の裾野拡大に向けて、市スポーツ公園等のランニングコース整備を行います。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>福井中央ライオンズクラブ結成60周年記念事業にて、市スポーツ公園内にランニング・ウォーキングコースの案内看板や距離表示を設置し、ランニングコースを整備しました。</p>		

政策分野 文化、芸術、歴史、自然

方針 8 自然や科学への興味を高め、創造性豊かな子どもを育む

計画の成果目標

成果指標：自然史博物館（本館及び分館）の年間施設利用者数（自然史博物館）					
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	77,000 人	94,000 人	97,000 人	97,000 人	最終年度目標
実績	94,420 人				97,000 人

[施策の方向性] 自然科学教育の推進

具体的な取組	(1) 特別展の開催 [自然史博物館]
	自然史博物館及び分館において、自然や宇宙について最新の情報や、調査・研究の成果などを題材に、特別展等を開催します。その他、国内外から貴重な資料を取り寄せ、展示することで、質や魅力を高めます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>自然史博物館本館では、春季（3月中旬～5月下旬）と夏季（7月中旬～10月中旬）に特別展・企画展を開催しました。令和4年3月19日から開催した企画展「しっとりモフモフ？魅惑の苔ワールド」では、今回初めて苔を題材とし、苔球や苔テラリウムを作成する講座等を開催し、幅広い年齢層の利用がありました。夏季の特別展「石が語るふくい」では、福井の歴史と石を絡めた展示を行い、開館70周年になる当館の歴史も併せて振り返りました。令和5年春季の特別展「あつまれ！福井の動物たち～リスからタヌキ、クマ、イルカまで～」では、福井県内に生息または記録のある哺乳類66種のうち50種以上を標本で展示し、野生動物との共存について考える展示を行いました。</p> <p>分館（セーレンプラネット）では、年間の共通テーマを「旅」とし、「KAGAYA 星空アート展-銀河鉄道の夜から-」、「キキ&amp;ララと宇宙の旅」、「ディスカバリー ～宇宙発見の旅～」の3つの特別展を開催し、宇宙・天文に触れる機会の拡大を図りました。</p>	

具体的な取組	(2) 学校や地域と連携した自然科学教育の推進 [自然史博物館]
	校外学習など、博物館での小中学校の受け入れのほか、学校や公民館等、直接地域に出向く出前講座等を開催することにより、広く自然科学教育の推進を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>本館では学校等の利用の際、要望に応じて足羽山の自然観察やクラフト体験といった体験学習を行っており、令和4年度は8回466人の利用がありました。また、学校や地域に出向いて講座や観察会等を行っており、令和4年度は学校、公民館等併せて30回450人の利用がありました。</p> <p>分館でも学校利用のほかに、学校等に出向く出前講座と、公民館で行う出張観望会を行っており、出前講座は6回115人、出張観望会は12回335人の利用がありました。</p>	

**[施策の方向性] 最先端の科学技術に触れる学びの場の提供**

具体的な取組	(1) 展示内容の充実や講演会等の開催 [自然史博物館]
	<p>県民衛星からの画像や衛星模型の展示をはじめ、関係者による講演会など、本物に触れながら楽しく学べる機会の充実を図ります。</p> <p>また、地元大学や企業等と連携し、最新技術に触れる学びの場を子どもたちに提供します。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>本館では、足羽山ビジターセンターで足羽山の季節の情報等の紹介や、特別展の会場の一部として展示を行うなど、情報を随時更新しています。</p> <p>分館では、話題となったブラックホール撮影の関係者による講演会や、福井出身の火星研究者による講演会、座談会を開催しました。また、はやぶさ2が小惑星リュウグウから持ち帰ったサンプルのレプリカを緊急展示するなど、宇宙・天文に関する最新の情報を紹介しました。</p>	

政策分野 文化、芸術、歴史、自然

方針 9 市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術に親しむ機会をつくる

計画の成果目標

成果指標：市民文化祭等参加者数及び美術館企画展入場者数合計					(文化振興課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	91,800 人	92,475 人	93,150 人	93,825 人	最終年度目標
実績	79,757 人				94,500 人

[施策の方向性] 文化芸術に親しむ環境の拡充

具体的な取組	(1) ICTを活用した文化芸術活動の場の創出	[文化振興課]
	市民が誰でも参加できる文化芸術活動の発表と鑑賞の場をオンライン上に設けることで、広く文化芸術に触れる機会を確保します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>コロナ禍において文化芸術活動の活性化を図るため、発表と鑑賞の場をオンライン上に設ける「ふくいバーチャル文化芸術祭」や「童謡の日さわやかコンサート」を開催しました。(参加者数:6,337人)</p> <p>コロナの終息に伴い、「ふくいバーチャル文化芸術祭」は令和4年度をもって終了し、今後は、芸術祭参加者が主体となって自らの活動について情報発信していきます。また、市が取り組む文化芸術活動については、SNSによる配信を進め、市民が鑑賞できるよう努めます。</p>		

具体的な取組	(2) 展示内容等の充実	[美術館]
	福井市ゆかりの彫刻家高田博厚の作品を中心とした常設展や、多彩な美術品に触れることのできる企画展を開催します。また、企画展の開催に併せて講演会やギャラリートーク、ワークショップなどを実施します。	
令和4年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>新型コロナウイルスの対策を行いながら、多彩な4つの企画展を開催しました。今年度は学校等の団体鑑賞や、30代以下の若年層の入込が少なかったものの、来場者アンケートによる満足度は昨年度より高くなりました。</p> <p>今後も感染対策を行いながら、解説会等の関連イベントを開催しつつ展覧会内容の充実を図ります。</p>		



具体的な取組	( 3 ) 創作体験活動の促進	[美術館]
	市民が様々な素材を使って気軽に書いたり、ものづくりに挑戦できたりする場を提供するため、幅広い世代を対象にアトリエ事業を実施します。	
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>新型コロナウイルスの対策を行いながら、予定通りにアトリエ事業を開催しました。今年度は昨年度と比較して、学校等の団体利用が少なくなり参加者数が減りました。</p> <p>今後も感染症対策を行いながら、誰もが気軽に創作体験できるプログラム内容で活動を促進します。</p>		

具体的な取組	( 4 ) 市美展ふくいの開催	[美術館]
	美術文化の向上と市民の美術の祭典となることを目的として、幅広い分野の美術作品を公募し、美術館で展示して紹介することにより、市民の創作活動への意欲を高めます。	
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>新型コロナウイルスの対策を行いながら、第 35 回市美展ふくいを開催しました。応募者数は前回とほぼ同じでしたが、観覧者数は増加しました。</p> <p>今後も感染対策を行いながら、会期中にワークショップやギャラリートークを企画するなどして、市美展ふくいを開催します。</p>		

### [施策の方向性] 文化芸術の担い手育成と市民活動の促進

具体的な取組	( 1 ) 文化芸術団体の活動支援	[文化振興課]
	各種文化芸術の企画・運営や文化交流の促進、文化祭の開催など各文化芸術団体が行う次世代の人材育成を目指す活動等を支援することで、市民の文化芸術活動の活性化を図ります。	
令和 4 年度の主な取組内容と成果・課題		
<p>福井市文化協会が開催する市民文化祭は、新型コロナのため、令和 3 年度に引き続き規模を縮小しての開催となりましたが、茶会や体験コーナーは対策を取った上で再開しました。(参加者数:3,084 人)</p> <p>また、NPO 法人福井芸術・文化フォーラム等が企画、実施する担い手の育成、文化交流の促進、文化芸術活動の発表・情報発信に関わる事業を支援しました。(参加者数：1,925 人)</p> <p>今後も引き続き、多くの市民が文化芸術に触れる機会を創出していく必要があります。</p>		

	(2) 無形民俗文化財の保護と後継者育成 <span style="float: right;">[文化財保護課]</span>
具体的な取組	地域の保存団体が行う、無形民俗文化財の公開に必要な用具等の新調や修理、後継者育成に関わる活動への支援を行います。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
無形民俗文化財の後継者育成に取り組む4団体に対して補助を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策により、2団体が開催を中止しました。無形民俗文化財が未来に保存・継承されるよう、保存団体と連携を図りながら、支援していきます。	

政策分野 文化、芸術、歴史、自然

方針 10 郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する

計画の成果目標

成果指標：主要な歴史・文化施設 の入場者数					(文化振興課)
	R4	R5	R6	R7	R8
目標	292,000 人	309,000 人	334,000 人	334,000 人	最終年度目標
実績	258,359 人				334,000 人

主要な歴史・文化施設...養浩館庭園、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館、一乗谷朝倉氏遺跡復原町並、郷土歴史博物館及びおさごえ民家園

[施策の方向性] 福井の豊かな歴史・文化遺産の保存・活用

具体的な取組	(1) 一乗谷朝倉氏遺跡及び養浩館庭園の保存と活用 [文化振興課]
	<p>貴重な文化資源を後世に継承するため、遺跡の保存と管理を適切に行います。</p> <p>また、地域や関係団体等と協力して遺跡や庭園の魅力を活かしたイベントを開催するなど、文化資源を活用した取組を進めます。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>貴重な歴史・文化遺産を未来へ継承するため、一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の屋根改修工事や養浩館庭園建物の内装・外装工事等を行いました。</p> <p>また、一乗谷朝倉氏遺跡では、県や地元団体等と連携して周遊バスやAR・VRアプリの運用、各種イベントに取り組むとともに、養浩館庭園では、庭園の夜間ライトアップやアート展示等を開催するなど、市民や観光客が福井の豊かな歴史・文化遺産に触れる機会の創出に努めました。</p> <p>北陸新幹線開業後の観光客増加を見据え、歴史・文化遺産の適切な保存と活用を推進していく必要があります。</p>	

具体的な取組	(2) 郷土歴史博物館収蔵資料の保存と活用 [郷土歴史博物館]
	<p>収蔵した歴史・文化資料を適切な環境で保存し、展示等に活用できるよう補修や復元を進め、市民の財産として確実に次の世代に伝えていきます。</p> <p>また、全国の国宝・重要文化財をはじめとした質の高い資料とともに、博物館収蔵資料を展示公開することでより分かりやすく、より伝わりやすく、その魅力を発信していきます。</p>
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>寄贈・寄託の申し出のあった福井にゆかりのある歴史資料について、資料審査委員会を経て受入れを行いました(寄贈73件、寄託1件)。また資料の修繕や古文書の複製製作を実施しました。今後も引き続き資料収集とその保存に努めます。</p>	

具体的な取組	(3) 歴史・文化遺産の保存修理 [文化財保護課]
	重要文化財大安寺をはじめ、指定文化財等の保存修理や活用に係る事業に対して、所有者や国・県等の関係機関と連携して、補助金交付などの支援を行います。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
国指定重要文化財大安寺が実施する建造物修理事業は、本堂の耐震工事、山門、鐘楼の組立が行われました。また、雪害による市指定文化財天然記念物の修理のための支援を行いました。今後も指定文化財が適切に保存・継承していくため、所有者や保存団体と連携し修理を行います。	

具体的な取組	(4) 文化的景観や日本遺産 などの活用 [郷土歴史博物館・文化振興課]
	重要文化的景観「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」や福井城址等の日本遺産、おさごえ民家園などの文化資源の魅力を伝えるための環境整備や情報発信、イベントの開催を行います。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>(文化的景観：郷土歴史博物館)</p> <p>地域拠点となる民間施設の整備に対して補助を行ったほか、城有町に案内サイン1基を設置して観光周遊の利便性向上を図りました。次年度は更なる関係人口拡大による地域活性化を目指し、整備計画(アクションプラン)の策定を行っていきます。</p> <p>(日本遺産：文化振興課)</p> <p>日本遺産「福井・勝山 石がたり」の活用については、福井県、勝山市および関係団体とともに福井・勝山日本遺産活用推進協議会を運用し、ボランティアガイドの育成やHPによる情報発信、日本遺産フェスティバル開催等の普及啓発を行いました。</p> <p>今後は、日本遺産を活かした民間による活動の自走化をより強化し、地域振興を促進していく必要があります。</p>	

具体的な取組	(5) 歴史・文化遺産資料のデジタル化 [郷土歴史博物館]
	福井ゆかりの歴史資料や文化財などに関するデジタルアーカイブを充実し、インターネットによるアクセス性を高め、自発的な学びを促進します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
当館所蔵資料について、資料の画像に解説を付してデジタルデータベースに掲載を進めています(約100件)。今後引き続き公開を進めていきます。	

**[施策の方向性] 地域の歴史や文化に関する市民理解の向上**

具体的な取組	(1) 歴史のみえるまちづくりの普及推進 <span style="float: right;">[文化振興課]</span>
	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会 の事業及び運営に対する支援を行い、共同で歴史ガイドを行うボランティア「語り部」の育成及び配置、歴史講座の開催、歴史スポットを講師の解説付きで巡る「歴史散歩」等の事業を行います。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>(公財)歴史のみえるまちづくり協会と連携し、まちなか歴史ガイド「語り部」の育成にあたりるとともに、福井城址や北ノ庄城址等に派遣して、観光客に福井の歴史文化の魅力を伝えました。</p> <p>また、市民歴史講座や子ども歴史講座、福井歴史ツアーを開催し、市民が歴史文化への理解を深めるよう努めました。</p> <p>北陸新幹線福井開業に伴う観光客の増加に伴い、今後益々、市民の郷土への理解の醸成を図る必要があります。</p>	

具体的な取組	(2) 愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館及びグリフィス記念館の活用 <span style="float: right;">[文化振興課]</span>
	郷土の歴史や文化に関する展示を行う施設の活用事業として、テーマを設けた特別展や企画展、福井の歴史や文化について学ぶ講座、茶会や朗読会などのイベントを開催します。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>橘曙覧記念文学館で特別展「星野富弘 花の詩画展」を開催するなど、3館において特別展や企画展を開催するとともに、お茶のふるまいや史跡めぐり、クリスマスイベントなど、各館の特性に合わせたイベントを実施しました。</p> <p>また、「月」をテーマに、3館が連携した展示やイベントを開催し、入館者の回遊性を高めました。</p> <p>3館が立地する愛宕坂周辺は、まち歩き的重要なスポットであり、魅力的な展示やイベントを開催することで、施設への関心を高めていく必要があります。</p>	

具体的な取組	(3) 歴史体験講座の開催 <span style="float: right;">[郷土歴史博物館]</span>
	昔のモノづくり技術の体験や先人が遺した史料を読み解くなど、歴史を体感的に学べる講座等を開催し、福井の歴史のより深い学びにつなげていきます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
<p>夏休みに「日本刀を分解してみよう!」「まが玉をつくろう!」など6種の歴史体験講座を開催、幅広い年齢層が参加しました(のべ81名)。冬季にはボランティアとの共同企画「三角縁神獣鏡チョコレート作りワークショップ」に多くの参加がありました(55名)。</p>	

具体的な取組	(4) 博物館ボランティア活動の育成・促進 [郷土歴史博物館]
	郷土歴史博物館・養浩館庭園における案内・解説や体験講座のアシスタントなど、ボランティア活動を担える人材を講座や研修によって育成し、自ら積極的に福井の歴史の魅力を発信できる人を増やしていきます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
ボランティア養成講座ミュージアムカレッジ(全8回)を開催、のべ94名の参加を得て13名がボランティア組織「とねりの会」に新たに入会しました。	

具体的な取組	(5) 学校と連携した郷土の歴史や文化を学びやすい環境の提供 [郷土歴史博物館]
	市内小中学校と連携し、児童生徒が郷土歴史博物館で行う学習活動について、より学びやすくなるよう環境の向上を図ります。 また、市内小中学校にとどまらず、高校や大学などの教育機関との連携にも取り組みます。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
校外学習の受け入れ(のべ59校)のほか、職場体験、授業への学芸員の派遣を行いました。また、コロナ禍を経て大人数での博物館見学が減少する中、ホームページにおける調べ学習や先生の授業作りのためのコンテンツ提供も進めていきます。	

具体的な取組	(6) 文化財の調査及び公開・活用 [文化財保護課]
	展示会や体験学習会を開催し、地域住民自らが郷土の歴史・文化を体感し、理解を深める機会の創出を図ります。
令和4年度の主な取組内容と成果・課題	
福井駅前電車通り北地区B街区市街地再開発事業地で、福井城跡の埋蔵文化財調査を行い、現地見学会を開催しました。 文化財保護センター及びおさごえ民家園において、体験学習会や季節の行事等を実施しました。 また、おさごえ民家園では、地域参加型イベントとして、「とことん昔ぐらし 古民家に来てみんな」を開催しました。今後も古民家を利活用し、文化財の新たな活用に取り組んでいきます。	

## 用語の説明

用語	説明
<b>【あ行】</b>	
運動部活動の地域移行	運動部活動を地域のスポーツクラブや民間事業者、保護者等の団体が主体となって行う活動に移行していくこと。
<b>【か行】</b>	
学校司書	学校図書館の整備及び奉仕的職務を担う。
G I G Aスクール	1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境。
グループウェア	組織内のコンピュータネットワークを活用した、情報共有のためのソフトウェア。
公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会	福井市固有の歴史と文化に関する事業を行うことで、本市における住民活動の充実と豊かで潤いのある個性的なまちづくりに寄与することを目的に設立された組織。本市と共同して歴史のみえるまちづくりを推進しており、歴史講座、歴史ツアー、令和独楽吟等の事業の外、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館の管理運営を行っている。
<b>【さ行】</b>	
障がい児介助員	肢体不自由や病弱の障がいのある児童生徒（福井市教育支援委員会が判断したもので教育長が必要と認めた場合）の学校生活の援助を行う。
スクールソーシャルワーカー	子どもを取り巻く環境に働きかけて、子どもが自分だけでは解決できない様々な問題の解決の支援や関係機関との連携を図る、社会福祉士などの資格を有する者。
センターサーバ	学校のネットワークセキュリティ対策や教職員が利用している校務用グループウェアを管理・運用するための機器。
<b>【た行】</b>	
単独調理校	自校分の給食の調理等を自校敷地内の給食室にて行う学校。
チャレンジ教室	長期欠席をしている不登校の小中学生を対象に、福井市教育委員会が平成2年度から設置している施設。個に応じた活動を進めながら、児童生徒が学校に復帰できるように支援している。

通級指導教室	小・中学校の通常の学級に在籍している、言語障がい、情緒障がい、弱視、難聴などの障がいがある児童生徒に対して、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別な指導を特別な場で行う教室。
特別支援学級	通常の学級における学習では十分にその効果を上げることが難しい児童生徒のために、特別な配慮のもと、その能力や個性に応じて適切な教育が受けられるように、小・中学校に設置される少人数の学級。
ドライシステム化	古い厨房施設に見受けられる床が水浸しになっている方式(ウェットシステム)ではなく、床に水を流さずに乾いた状態で調理や洗浄を行う方式へ移行すること。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制し、跳ね水による二次汚染を防ぐことができる。
<b>【な行】</b>	
日本遺産	歴史的魅力や特色を通じて地域の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が日本遺産として認定し、ストーリーを構成する文化財群を活用・発信することで、地域活性化を図ることを目的としている。 令和元年5月に、朝倉氏遺跡、福井城址、養浩館庭園や勝山市の平泉寺などの文化財を「石」をテーマに紡いだストーリー「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」が日本遺産に認定された。令和3年度現在の認定数は104。
<b>【は行】</b>	
福井市学力・学習状況調査研究委員会	国語、算数・数学の教員と指導主事が、全国学力・学習状況調査の結果分析をもとに、各学校における指導改善を図るための手立てを協議する組織。
福井市教育支援委員会	障がい等のある幼児、児童及び生徒に対して、就学先の決定だけでなく、早期から一貫した支援について助言を行う機関。(教育委員会に設置)
福井市特別支援教育専門委員会	特別支援教育の充実を図るため、教育、医療、福祉、行政等の各分野から委員を選出し、特別支援教育体制づくりを検討する組織。
フットボールセンター	日本サッカー協会が助成金を出して整備を進める各都道府県のサッカー拠点施設。天然芝3面以上または人工芝1面以上のサッカーコート、クラブハウス、ナイター照明設備の3点を整備することが助成条件。
<b>【や行】</b>	
夕方見守り運動	不審者による子どもへの声掛け事案等が発生しやすい夕



	方に合わせ、「花に水をやる」「犬の散歩をする」ことなどを心がけ、地域ぐるみで子どもの安全を見守るボランティア活動。
【ら行】	
ライフパートナー	福井市と福井大学の連携事業の一環で、教育相談の授業を受けている大学生が、保護者からの要請を受けて学校不適応児童生徒の学校や家庭等を訪問し、相談相手として接することで児童生徒の自立を側面的に支援する。
レファレンスサービス	利用者の資料探しや調べものに関して、相談や情報提供による手助けをすること。
【わ行】	
わくわく交流デー	5歳児を対象に、小学校入学前の2月に実施している小学校一日体験。

## 6 学識経験者の知見

令和4年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についての所見

福井大学連合教職大学院 教授 小林 真由美

今年度から、ようやくコロナも5類扱いとなり、3年以上に渡ったコロナ禍というトンネルを抜けようとしています。このコロナ禍にあって、多くのものが失われ、子供にも大きな犠牲を強いてきましたが、一方では、ICTの飛躍的な普及など、コロナ禍だったからこそ可能になったこともあります。今、学習指導要領に続いて、中教審からは「令和の日本型学校教育」と銘打った答申が出され、大きな教育改革の波が打ち寄せています。そのような状況のもと、福井市の教育をこの先、どのように変革していくかという視点もふまえて、令和4年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について所見を述べさせていただきます。

福井市教育委員会の活動状況について

令和4年度は第3期福井市教育振興基本計画のスタートの年となっています。VUCA時代といわれるように、明日の見えない不安定な世の中において、子供たち自身に社会を切り拓く力をつけ、全国に誇れる教育環境のさらなる充実を図っていくことは、重要な課題です。時代の要請と福井市の現状を考慮した第3期福井市教育振興基本計画は、あらゆる教育の場をふまえた充実した内容で、これをもとに令和4年度の活動が進んできました。8年度までの計画ですので、具体的な数値目標に近づいていけるよう、次年度からもご尽力願います。

各種審議会等審議状況について

最近是学校でも子供達の学びのスタイルが変化しており、一方的に先生から講義式で教え込まれるのではなく、自ら探究し、それを仲間と話し合い学びを深めていくという協働的なスタイルが提唱され、それにともなって教職員の研修のスタイルも、ともに語り合うことで学びを深める形に変化しています。ぜひ、各種審議会でも市からの説明の後、質疑応答するといったこれまでの決まったスタイルではなく、市から提出された資料をもとにグループセッションするなど、審議委員が自由に意見を述べ合い、それを討論できるような形に変えていってはいかがでしょうか。資料を見せていただくと「主な意見」の欄には「～だろうか」などの疑問形式での掲載も多く、それに対して審議委員の反応はどうだったのか、さらに市側からどのように返答したのか、わかりません。ぜひ審議会のもち方も工夫されて、どのような点が議論され、その結果どのようなことを推し進めていくことになったのか明確になるとよいと思います。毎回実施している審議会が、単なる形式的なもので終わるか、その審議会をもとに変革が行われたかという結果次第で、その審議会の価値も変わってくると思います。そのうえで、今、特にこれからの教育に大きな課題となっている点について具体的に述べさせていただきます。

#### ( 1 ) 福井市学校不適応対策推進会議

今や不登校は国を挙げての大きな課題となっており、本市でも相当数の不登校児童生徒がいます。主な意見にあるようにコロナ禍で一気に進んだオンラインにより、他県では不応教室から家から出られない子へのオンライン授業やオンデマンド授業が進んでいます。福井市でもチャレンジ教室の Wi-Fi 環境が整ったとのことですが、出てきたご意見を生かして、次回は他県でのこうした取組を紹介し、本市で具体的に、どのようなことが可能かを検討してはいかがでしょうか。

#### ( 2 ) 福井市教育支援委員会

不登校と同様に、年々その対象の児童生徒が増え、特別支援教育の重要性は増えています。福井市では、この教育支援委員会を 8 回も開催し、丁寧な協議を繰り返していることに頭が下がります。令和の日本型学校教育の中でも個別最適化が重視されるようになり、ますます個に応じた丁寧な関わりが大事になってきます。委員の皆様のご尽力に感謝しつつ、これからも一人一人を大切に丁寧な対応をお願いします。

#### ( 3 ) 福井市通学区域審議会

通学区域については、福井市全体の大きな問題であり、関心事です。「統廃合には反対」という意見も挙げられており、審議会の中での議論も白熱したと思われませんが、審議の様子が伝わらないので、出された意見についての対応も含めて、もう少し詳細にまとめていただければと思います。

#### ( 6 ) 福井市社会教育委員の会議

2 回目の内容を見ると主要事業の概要や実践目標の見直しなど重要な課題について審議されたと思いますが、出された意見が 1 つずつで、会議自体はあまり活性化しなかったのではと推察されます。冒頭で述べましたように、3 名程度の気軽なグループで意見を出し合うなどの方法をとってみてはいかがでしょうか。

#### ( 8 ) 福井市青少年問題協議会

会議の内容が詳細でどのような意見が交わされたかがよく伝わります。情報モラル、性被害など子供を取り巻く環境は、近年、大きく変化しています。この会議の重要性を感じます。

#### 事務の管理及び執行状況について

第 3 期福井市教育振興基本計画を鑑みて、具体的な成果目標の達成度が数値で示されていますが、目標数値の達成だけが目標になって、本質が見えなくなるものないように、本当に意味のある実施を改めてお願いします。

#### 方針 1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす

「将来の夢」「授業の理解」は市の施策だけで成果が上がるものではなく、子どもたちを取り巻く様々な要因の分析とあらゆる教育機関との連携が必要だと思えます。令和 4 年度から始まった新たな「福井市学校教育重点目標」では「つながり」を重要ととらえ、学校も独自で取り組むので

なく、家庭や地域との連携を強化しています。「家庭・地域・学校協議会」や「教育ウィーク」はそうした意味で重要な取組ですが、ややマンネリ化していたり、コロナ禍で消極化したりと言うところも少なくないので、それを活性化する市としての新たなしなかけを考えてみてはいかがでしょうか。

「ICTを活用した教育の推進」については、他地区と比べると、持ち帰りによる家庭学習、文房具として授業で活用することなど、大きな遅れを感じます。先生への研修の充実やサポート体制も必要ですが、思い切って予算をつけ、子どもたちが活用しやすいアプリを投入するなど、自由に使いこなして学習に役立てる取組について早急に検討する必要があると考えます。

#### 方針2 食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する

まず、成果目標に挙げられている「肥満傾向にある児童の割合」についてR8までの2%以上の減は、学校給食や食育だけの問題ではなく、家庭との連携や子どもたちへの本質的な働きかけが必要です。令和4年度の具体的な取組内容をみるとあまり「肥満傾向」に向けたものになっていないように思われますが、目標の見直しまたは取組の見直しが必要ではないでしょうか。

#### 方針3 安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む

長い間の懸案事項であったICT環境に関して、高速ネットワーク化、教員のタブレット端末導入が整ったことは大変、ありがたいと思います。児童生徒用のタブレットの更新もできるだけ早くお願いできればと思います。学校規模適正化については前述しましたとおり、審議内容ができるだけわかりやすくオープンになるよう、よろしく願います。

#### 方針4 家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る

放課後の子供たちの居場所については、全国的な課題となっています。人口の集中する森田地区での新たな児童クラブの開設はとてもありがたいと思います。一方で職員にも、巡回アドバイザーを派遣して対応していただいておりますが、職員不足は子供たちにとっても健全な育成を阻む要因となりうると思われまます。この先の児童数を推測し、長期的な展望についてお諮りいただきたいと思ひます。

#### 方針5 福井への誇りや愛着が持てるふるさと教育の充実を図る

まず、成果目標の中央公民館「福井学」講座の年間参加者数はR8の目標の720人を大幅に超えて、743人となったことは素晴らしいと思ひます。R8まで下回ることはないように、さらなる工夫をお願いします。

ふるさと教育については嶺南地区では、子供たちと地域が連携して特産品を作って売るなど、子どもを地域と直接結び付ける働きかけが盛んです。前述しました通り、つながりということが重視されてきている今、新幹線開業で市全体が活気づこうとしていることも踏まえ、子どもたちが直接、地域に関わることができるような機会を設けていただけるとよいと思ひます。

#### 方針6 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する

方針5により、中央公民館「福井学」講座の年間参加者数についてはすでにR8の成果目標をク

リアしていますが、公民館全体ではまだまだ及ばず、といった状況にあるのはなぜでしょうか。中央公民館は公民館ネットワークの中心的役割を果たすものでありますので、ぜひ、お互いの情報を共有し、どの公民館もみんなが利用しやすく、楽しい活動が企画できるとよいと思います。

#### 方針7 ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する

コロナ禍が終息し、様々なスポーツ大会が開催できたことは大変すばらしいと思います。いよいよ念願のフルマラソンも開催されますので、この機に福井市民がひとつになって、スポーツを支援していこうとする動きが生まれてくるとよいと思います。

#### 方針8 自然や科学への興味を高め、創造性豊かな子どもを育む

特に、セーレンプラネットに関しては、まさに新幹線開通の折には、福井への玄関口とし大きな役割を果たすと思われます。都会ではプラネタリウムはデートスポットとしても人気ですので、「日本一駅から近いプラネタリウム」として恐竜を題材としたプログラムを用意するなど、その魅力をアピールできれば子どもたちへの影響も大きいと思います。

#### 方針9 市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術に親しむ機会をつくる

コロナ禍で控えていた市民文化祭や文化芸術祭、コンサートなどが規模縮小ではなく、これまでどおりの形で復興できることを切に望みます。また、中央公園での野外フェスやハピリン会場でのコンサートなど、街中での文化芸術に親しむ機会を増やし、福井市街地の活性化にも繋げていくとよいと思います。

#### 方針10 郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する

福井にはここに掲げた素晴らしい施設がたくさんあり、加えて一乗谷朝倉氏遺跡博物館はこれからの入場者増加に大いに貢献すると思われます。新幹線開通による来県者も見込んで、例えば子どもたちにアピール方法を募集するなど学習の機会にも活用して、更なる充実をはかってください。

以上、各種審議会や方針について目標に照らし合わせて実施状況を分析しました。冒頭に述べましたとおり、国が教育改革に乗り出し、コロナ禍が一応の終息を見た今こそ、新しい時代を担う子どもたちのために意義ある取組を進めていただきたいと思います。本報告書に基づいてじっくりと検討し、更なる成果が上がるようご尽力いただければと思います。

各方針について、所見をお伝えします。

#### 方針1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす

##### 未来につなぐ特色ある学校づくりの推進

どのような未来を描いている施策なのか、ここでは読み取りにくいと感じるが、特色のある中学校そして小学校をつくることで地元への愛着が生まれるならば良いと思う。それは福井の未来につながると考える。

家庭・地域・学校協議会が活発に開催されていることは評価できるが、その後が重要である。各学校によると思うので精査してほしい。開催するだけでは意味がない。

##### 学力充実のための教育活動

福井市学力・学習状況調査研究委員会が設置され機能していることは評価できる。授業についても、授業公開や研究会など積極的にされており、教員のレベルアップに直結するよう思う。教員個人でのスキルの差はあると思うが、最低レベルの絶対値が高まるよう期待する。教員によって当たり外れがあるのは、児童生徒も教員もお互い不幸になる。

読書は推進してほしいので、学校司書が増員されたのは評価できる。24人ということでは一人が3校を担当するように推察するが、それで十分なのか検討してほしい。

小学校での英語教育については、聞くこと、話すことをメインで楽しく取り組んでいただきたい。外国語に対するハードルを下げる効果を期待する。

##### 豊かな心の教育の推進

道徳教育には力を入れていただきたい。人権感覚につながるものだと思う。近年、人をたたく、自分の意見を必要以上に主張する、相手を論破するというようなことを多く目にする。道徳心を養うことで自制できるのではないか。いじめや差別が無い学校になるファーストステップだと考える。

##### キャリア教育の充実

キャリア教育は重要であると考えており、これからも推進していただきたい。学校（授業）と企業、社会がつながっていることを実感してほしい。教育委員会が求めるもの、外部からの提案をうまく調整しながら、キャリア教育を進化させてほしい。

##### 多様な子どもたちへの支援の充実

みんながそこに居ていいし、いろんな人がそこに居ることを理解し、それが日常になるようにしたい。当たり前なことだと伝えたい。学校の全員が仲良くすることもいいが、好き嫌いがあっても、それを受け入れることが大切。

サポートが必要な児童生徒、保護者に対して、不安にならないよう制度や機会の充実を期待する。チャレンジ教室は一步進んだようで評価する。

#### 園小接続の推進

小学校への就学がスムーズにできるよう、園と小学校の連携ができているのは評価する。はじめのつまずきで予想できることは取り除いてほしい。

#### I C Tを活用した教育の推進

ハード面の充実は進んでいると思う。これからはI C Tの活用が問われる。クラス一律の授業からの脱却にも活用できると考える。進んでいける子には次のステップを準備して伸ばしていける。逆にしっかりフォローが必要な子には繰り返し勉強ができる。教員の負担は増えるのかもしれないが、デジタルネイティブ世代への対応を期待する。

#### 教職員の資質向上の推進

教職員研修は本当に必要なものを精査し、受講していただきたい。教員免許が必要な業務、教員でなくてもできる業務を区別すれば業務改善ができると思う。さまざまな提出する書類、調査などあると思うが、それが本当に必要なかを精査してほしい。提出物は半減できるのではないかと想像する。

### 方針2 食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する

#### 安全安心でおいしい学校給食の提供と食育の推進

ふるさと給食、地場産食材はこれからも継続してほしい。素晴らしい取り組みだと評価する。食育指導は家庭ではなかなかできないので、これからも推進してほしい。

学校給食センターが令和6年4月から供用開始される。自校調理がなくなるのは残念だが、事情は考慮する。ただ、給食センターになると事故があった場合は影響が大きくなる。細心の注意を払って欲しい。

#### 心身ともに健やかに育つ学校保健の充実

視力の低下は気になるところで家庭との連携にP T Aとしても注力したいと考える。P T Aでも家庭に伝えたいことがうまく伝わらないという悩みがあるが、解決していきたい。

#### 生き生きと運動に取り組む学校体育の充実

部活動の地域移行に関しては、これから議論が本格化していくと思うが、たたき台となるようなプランが今年度中に提案があると聞いているので、それを待ちたい。P T Aとしても、現時点では議論を深める段階に至っておらず、次年度以降になると思う。部活の競技ごと、学校ごとに検討をしていくと玉突きのように課題が出てくるので、提出されるプランを基に目指す方向性から議論をしていきたい。

### 方針3 安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む

#### 安全で快適な学校施設の整備

老朽化により安全が脅かされている状況は、単位PTAからも聞いている。雨漏りは優先的に改修工事に取り掛かっていただきたい。必要な改修は、学校環境をより良く快適に整備する以前の問題として、不安、心配を取り除いていただきたい。

予算の話になるが、学校教育内部での予算の振り分けの問題ではなく、学校教育に関する予算そのものの増額をお願いしたい。子どもたちを社会で育てる、地域の宝という言葉はよく耳にするが、その通りの予算を要求していただきたい。

#### ICT環境の整備

ICTの環境は整っているとのことで評価する。タブレットなど更新に不安が残るがスムーズな更新を期待する。ハード面は整っているので、次のソフト面、運用に注力していただきたい。

#### 安全安心な通学路の確保と安全教育の推進

通学路の危険箇所は順次改善できていることは評価できる。登下校中の災害に対する対応は訓練をすることで取り組んで欲しい。家庭に任せると、違いが出てきそうなので学校をお願いしたい。

#### 学校規模の適正化

美山地区のように進んでいる学校地区がある中、なかなか進まない地区もある。PTAとしても心配している海側の地区、一乗地区など同時進行でお願いしたい。地区ごとに複数のプランを提示していただき検討していきたい。地区からの要望を待つのでは後手に回ると感じている。複数プランを作成する段階からPTAとしても協力できると思う。

また、九頭竜中学校の名称が決定したということで、「クズ中」と呼ばれる心配の声を聞くことがある。決まる前に言ってくれという話ではあるが気持ちは理解できる。

### 方針4 家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る

#### 情報モラル教育の推進

インターネット利用について、使わないようにする制限は無理だという状況で、使い方を伝える情報モラル教育は重要な位置付けにある。使用時間や課金の問題もある。家庭でも意識していきたい。福井市PTA連合会でも情報モラル講習会をお願いしているが、定着していくことを期待する。

#### 家庭や地域、関係機関・団体が連携した青少年の健全育成

家庭における家族のふれあいは、子ども達の心のゆとりにもつながる大事なことであり、これからも意識していきたい。

夕方見守り運動は協力できているPTAもいるが、仕事をしている保護者が多いのも事実でPTAは参加できていないと考える。夕方見守り運動に関しては、感謝しながら地域にお



願いたい。

#### 方針5 福井への誇りや愛着が持てるふるさと教育の充実を図る

##### ふるさと教育の推進

##### 福井の魅力を学び、発信できる環境づくり

大学進学タイミングで福井県を離れる学生も多いと思う。進学先で誰よりもふるさと福井のことを発信してほしい。そのために福井のことをしっかり学ぶことは重要。福井のことを知ることが愛着に直結する。とくに、橋本左内、松平春嶽は押さえておきたい。

#### 方針6 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する

##### 公民館を活用した多様な学習機会の提供

##### だれもが利用しやすい生涯学習施設の充実

福井市は小学校区に公民館があることから、地域に密着しており、活発な活動をしていただいていると感じている。ただ、利用者は限定的で、いわゆる常連で成り立っている印象もある。地域の住民に学習機会の提供がもっとできることを期待する。

団体・グループ・個人をつなぐ地域のコーディネーターの役割を発展させて、他地区、他公民館のグループ同士をつなぐこともできないかと思う。自主グループに、地域外のメンバーが多かったり、人数が減少していたり、運営が難しくなっていることもある。

##### 市民憲章運動の推進

公民館活動と連携し、花いっぱい運動など展開していくのは評価できるし、継続していただきたい。市民憲章の周知は難しいが、機会を増やすしかないと思う。

##### 市民ニーズに対応した図書館サービスの提供と市民の交流促進

##### 効果的・効率的な図書館運営と環境整備

図書館に来館する利用者の利便性を高めることは評価できる。郷土資料の充実もこのまま促進してほしい。別の視点でも検討するために、図書館を利用しない人の意見を聞く機会は作れないだろうか。リピーターを増加する施策、新規を増加する施策は別物だと考える。検討をお願いしたい。

市立図書館の地域交流センターは積極的な活用を期待する。電子書籍、自動貸し出しはぜひ利用したいと思う。

#### 方針7 ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する

##### 時代のニーズに応じたスポーツ環境の充実

##### 生涯にわたるスポーツ活動の充実

スポーツ施設、スポーツイベントは、充実しているようで評価する。そのうえで、立場的に学校の体育館改修などを先にしてほしいと思うことは否めない。大人は後回しで数年我慢できないか考える。

## スポーツを活かしたまちづくりの推進

県内のトップチームと連携するのは賛成だが、福井ユナイテッドFCも、野球のチームも成功しているとは言い難い。そこにバスケットボールのチームも加わる。妙案は持ち合わせていないが、策を検討してほしい。

## スポーツを通じた交流人口の拡大

フルマラソンのふくい桜マラソンは定着してほしいし、盛り上がってほしい。全国的にも後発になるので、これまでにないような特徴的なマラソン大会であると期待する。全国から多くの参加者が福井県に来ていただけるようお願いしたい。宿泊施設や観光マップなど周辺も充実してほしい。

## 方針 8 自然や科学への興味を高め、創造性豊かな子どもを育む

### 自然科学教育の推進

#### 最先端の科学技術に触れる学びの場の提供

学校の授業を超える体験ができると子ども達の興味も広がり、将来の選択肢も増えると思う。校外学習や出前講座など推進していることは評価する。また、児童生徒が一度は体験できるよう期待する。

## 方針 9 市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術に親しむ機会をつくる

### 文化芸術に親しむ環境の拡充

コロナ禍も終わり、文化芸術活動が活性化しているようで評価する。文化芸術に親しむ人のすそ野が広がり、参加者数が増加すると豊かな福井になるのではないかと考える。私は参加できていないが、自身に余裕が無いのではないかと考える。参加者が増えるということは心に余裕がある人が増加することと同義であると思う。

### 文化芸術の担い手育成と市民活動の促進

文化芸術団体、無形民俗文化財の主宰者は高齢化していると予想し、心配している。後継者育成が重要な取り組みになる。

## 方針 10 郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する

### 福井の豊かな歴史・文化遺産の保存・活用

#### 地域の歴史や文化に関する市民理解の向上

ふるさと福井を知ることが重要であり、愛着に繋がる。そのための施設、収容物はしっかりと保存、活用してほしい。クラウドファンディングの活用もあったと思うが、重要なところ、しっかりと予算を付けていただきたい。できたらいいなという感覚では心配になる。

許される範囲で学校と連携し、校外学習や学芸員の派遣を推進してほしい。福井のことを語るができる福井市民を増やすためにも、子どもたちに伝えていきたい。

最後に

学校規模の適正化、学校施設の改修は、もっとペースを上げてほしい。他にも、学校に関する項目では、福井市PTA連合会に出来ることはあると思うし、協力していきたいと考えている。そのための連合会でもある。

多くの方針、施策は評価できるので、その項目については推進してほしい。各施策の取り組みと成果・課題において、成果のみの報告が多く、課題が少ないのが気になるところ。課題が無いわけではないと思うので、次に進むためにも精査していただきたい。